

Municipality Project Book 2023

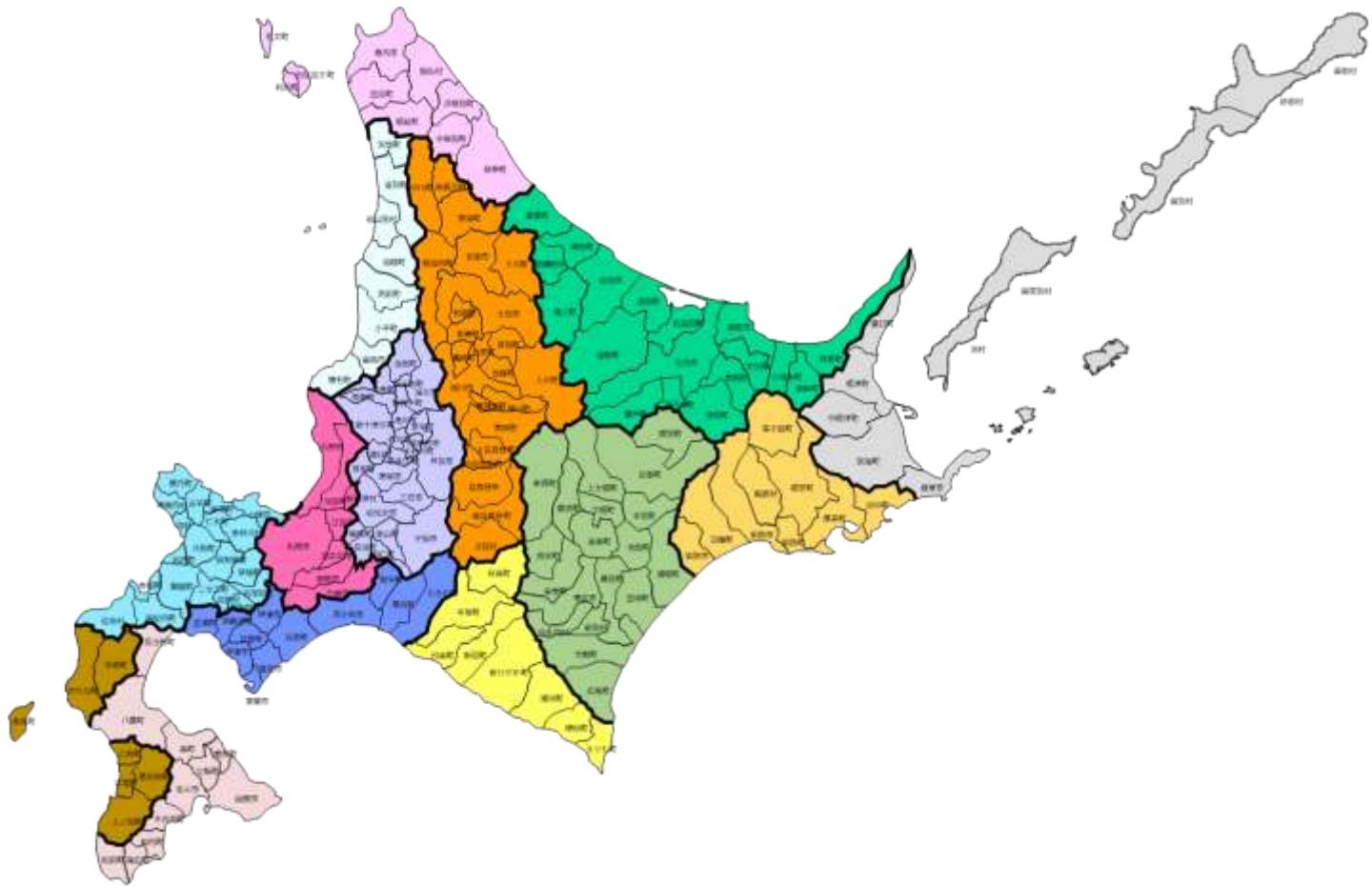


企業の皆さんと 共に取り組む プロジェクト 2023

- 企業版ふるさと納税
- 協働
- 遊休施設の利活用



北海道179市町村と14（総合）振興局



14(総合)振興局

空知総合振興局

石狩振興局

後志総合振興局

胆振総合振興局

日高振興局

渡島総合振興局

檜山振興局

上川総合振興局

留萌振興局

宗谷総合振興局

オホーツク
総合振興局

十勝総合振興局

釧路総合振興局

根室振興局

Municipality Project Book 2023

CONTENTS

- ① ほっかいどう応援団会議とは
- ② 企業版ふるさと納税制度の概要
- ③ 企業版ふるさと納税の活用事例

④ 交流人口・関係人口

| | | |
|----|-------|--|
| 4 | 室蘭市 | まちの資源を活かし、新たな「ひと」の流れをつくる事業 |
| 4 | 苫小牧市 | 交流人口の増加に向けた「都市再生コンセプトプラン」の実現 |
| 5 | 江別市 | 大学生が地域に出会う「ジモ×ガク」 |
| 5 | 登別市 | 海外との交流の場と機会の拡大 |
| 6 | 新篠津村 | 天文台をキーに交流人口増を！地域を元気にする「空のまち」構想 |
| 6 | 長万部町 | 交流人口・関係人口の創出に向けて |
| 7 | 厚沢部町 | 次の100年を創造する地域の家族と繋がりをつくる保育園留学 |
| 7 | 真狩村 | 交流・関係人口や移住者の増加に向けて |
| 8 | 妹背牛町 | 新たな人の流れをつくり交流人口の増加を図る事業 |
| 8 | 沼田町 | サテライトオフィス及びワーケーションの推進 |
| 9 | 美瑛町 | 関係人口の創出・拡大からひと・しごとを呼び込む循環づくり |
| 9 | 中富良野町 | 観光入込客数の増加や農産物のPR |
| 10 | 南富良野町 | 重点「道の駅」や周辺での賑わい創出支援 |
| 10 | 中川町 | 中川町地域商社と東京都世田谷区サテライトスペース連携事業 |
| 11 | 遠別町 | まちのシンボル再生による新たな交流拠点の整備 |
| 11 | 利尻富士町 | 関係人口拡大、移住・定住促進事業 |
| 12 | 西興部村 | 日本最北のバッティングセンターがある「森林公園リニューアル事業」 |
| 12 | 様似町 | アポイ岳ユネスコ世界ジオパークによるまちづくり |
| 13 | 新ひだか町 | 「二十間道路桜並木」の感動の世界へ |
| 13 | 広尾町 | サンタの森を活用し、林業振興・交流人口の拡大をめざす！ |
| 14 | 広尾町 | 広尾サンタランドの魅力を発信、関係人口の増加をめざす！ |
| 14 | 標茶町 | 観光情報と環境保全啓発の発信拠点再整備による交流人口の拡大と上質な滞在環境の創出 |

15 まちづくり

- | | | |
|----|------|--|
| 15 | 函館市 | 1 市民一人ひとりの幸せを大切にする事業 2 函館の経済を支え強化する事業 3 快適で魅力あるまちづくりを進める事業 |
| 15 | 旭川市 | 新時代をリードする北・北海道の中心都市 |
| 16 | 恵庭市 | アプリを使ったつながるまちづくり |
| 16 | 石狩市 | 産業と共に成長する一人ひとりに寄り添った住みよいまちへ |
| 17 | 当別町 | ロイズタウン駅を中心としたまちの新たな周遊空間の創造 |
| 17 | 知内町 | 知内町ふるさと創生事業 |
| 18 | 鹿部町 | 地域経済の好循環拡大と定住移住に取り組む |
| 18 | 江差町 | 観光客や住民が集う拠点施設を整備～北の江の島構想～ |
| 19 | 黒松内町 | 訪れたくなるまちをつくる |
| 19 | 南幌町 | 中央公園における新たな賑わい創出の場の整備 |
| 20 | 安平町 | 北海道胆振東部地震で被災した早来中学校の再建により教育とコミュニティを再生 |
| 20 | 釧路町 | 釧路町の魅力増進を目指して |
| 21 | 厚岸町 | 離れたくないまち“あっけし”実現プロジェクト |
| 21 | 中標津町 | 外国『人財』の誘致と多文化共生のまちづくり |

22 自然・環境

- | | | |
|----|------|---------------------|
| 22 | 乙部町 | 交流・関係人口や観光客の増加に向けて |
| 22 | 京極町 | 北海道遺産「ふきだし湧水」を守る |
| 23 | 長沼町 | タンチョウも住めるまちづくり |
| 23 | 栗山町 | ハサンベツ里山の保全活動事業 |
| 24 | 東神楽町 | ゼロカーボン象徴！緑に囲まれた新庁舎！ |
| 24 | 厚真町 | 被災から、森林再生に向けて |
| 25 | 鶴居村 | 自然環境に配慮した森づくりを目指して |

26 文化・スポーツ・歴史

- | | | |
|----|-------|---|
| 26 | 北見市 | トップアスリートのニーズに対応する先導的なカーリングホールの活用 |
| 26 | 美唄市 | ベースボールを核とした地域活性化 |
| 27 | 名寄市 | 冬季スポーツ拠点化プロジェクト |
| 27 | 深川市 | 「スポーツ」がもたらす効果でコロナ禍や人口減少に負けないまちづくり |
| 28 | 北広島市 | ボールパーク構想と連携した新たな価値の創造 |
| 28 | 東川町 | アイヌ文化とアイヌの誇りを国内外に |
| 29 | 東川町 | 世界中の写真と出逢い、世界中の人々がふれあい、世界中が笑顔に溢れる写真文化首都 |
| 29 | 上富良野町 | 活火山の恵みと脅威を活力に |
| 30 | 遠軽町 | 10トンディーゼル機関車に再び汽笛を |
| 30 | 浦河町 | 浦河町出身田中光敏監督による映画製作の実現 |
| 31 | 様似町 | 映画「北の流氷」（仮題）制作の実現に向けて |
| 31 | 鶴居村 | 音楽祭による新たな地域文化の創出に向けて |
| 32 | 白糠町 | 「ウレシバ・シラリカ」ロケツーリズム推進プロジェクト |

33 くらし・子育て・健康

| | | |
|----|------|----------------------------|
| 33 | 室蘭市 | 子育て世代が希望をもって住み続けられるまちづくり事業 |
| 33 | 釧路市 | 安心して子どもを生み育てられる環境を整備 |
| 34 | 芦別市 | 子ども一人ひとりのニーズに合わせた特別支援 |
| 34 | 土別市 | めん羊振興事業 |
| 35 | 歌志内市 | 子どもを産み、育てやすい環境をつくる |
| 35 | 伊達市 | 「こころ」も「からだ」も健康に暮らせるまち |
| 36 | 木古内町 | 木古内町みらいある事業 |
| 36 | 七飯町 | 子どもたちの笑顔をたくさん見たい！ |
| 37 | 森町 | 子育てしやすい環境を目指して |
| 37 | 俱知安町 | くっちゃんと暮らす幸せを感じるための事業 |
| 38 | 仁木町 | 「NIKI交流プラザ(仮称)」の整備 |
| 38 | 妹背牛町 | 子育て世代が魅力を感じるまちづくり事業 |
| 39 | 増毛町 | 「高血圧ゼロ」で元気に長生きできるまち |
| 39 | 初山別村 | 住民との協働によるデマンド型車両運行の推進 |
| 40 | 中頓別町 | 新たな交通手段により誰もが安心して暮らせる町へ |
| 40 | 壯瞥町 | 選ばれるまちを目指して |
| 41 | 士幌町 | 結婚・出産・子育てへの支援を充実させる事業 |
| 41 | 清水町 | 子どもを安心して産み・育てられるまち |

42 産業

| | | |
|----|------|----------------------------------|
| 42 | 室蘭市 | まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の場の創出事業 |
| 42 | 名寄市 | 「北・北海道物流拠点構想」の実現に向けて |
| 43 | 三笠市 | 未利用エネルギー活用事業 |
| 43 | 八雲町 | 北海道初のトラウトサーモン海面養殖事業で地域活性化を図る！ |
| 44 | 共和町 | 「らいでん」ブランドを守る農業の担い手確保と育成 |
| 44 | 岩内町 | 地場産業の活性化に向けた海洋深層水の新たな挑戦 |
| 45 | 余市町 | 食の都よいいちフルコースプロジェクト |
| 45 | 赤井川村 | 新規就農者育成プロジェクト |
| 46 | 秩父別町 | ゼロカーボンシティの実現に向けて |
| 46 | 北竜町 | ひまわりを活用した魅力あるまちづくり |
| 47 | 愛別町 | 人と文化が輝く愛別 |
| 47 | 下川町 | SDGsを取り入れ、人も資源もお金も循環・持続するまちを目指して |
| 48 | 湧別町 | まちの人と農業を守り、未来へつなぐ |
| 48 | 大空町 | ひがしもこと芝桜公園リニューアルに向けた再整備事業 |
| 49 | 大樹町 | 大樹発！航空宇宙関連作業の集積による地域創生の推進 |
| 49 | 足寄町 | 地域の魅力向上と町民の健康増進、子どもの健やかな成長に向けて |

50 ICT・AI

| | | |
|----|------|-------------------------|
| 50 | 岩見沢市 | 未来技術を活用したスマート・アグリシティの実現 |
| 50 | 猿払村 | IoTを活用し猿払に最適な施設園芸を！ |
| 51 | 上士幌町 | ICT先端技術を活用したスマートタウンの推進 |
| 51 | 更別村 | 更別村スーパービレッジ構想 |

52 人材育成・教育

| | | |
|----|-------|----------------------|
| 52 | 札幌市 | さっぽろ圏域を支える「ひと」の育成 |
| 52 | 釧路市 | 1人の雇用を生む100社の育成を目指して |
| 53 | 北斗市 | ～若者の市内回帰の促進を～ |
| 53 | 福島町 | 人材の育成により次世代のリーダー等を育成 |
| 54 | 知内町 | 過疎が進む小さな町の高校を魅力化 |
| 54 | 奥尻町 | 高校3年間を自然豊かな離島で暮らす。 |
| 55 | 岩内町 | 岩内高等学校との連携事業 |
| 55 | 音威子府村 | 村立おといねっぷ美術工芸高校の魅力化 |
| 56 | 枝幸町 | 地域医療を支える人材育成・確保 |

57 協働事業の活用事例

| | | |
|----|----------|--|
| 57 | 室蘭市 | 室蘭から新しいビジネスがはじまる。「サテライトオフィス室蘭」 |
| 57 | 苫小牧市 | 苫小牧での就職を促したい！ |
| 58 | 名寄市 | 名寄市のスポーツ競技施設を活用したスポーツツーリズム等の開発・販売 |
| 58 | 北斗市 | 企業誘致に係る連携・支援 |
| 58 | ニセコ町 | SDGs～未来へ向けた持続可能なまちづくり |
| 59 | 岩内町 | 岩内町発祥の地域素材を活用した「イワナイブランド」の確立 |
| 59 | 仁木町 | 企業と連携して次世代観光拠点を整備 |
| 59 | 長沼町 | タンチョウも住めるまちづくり |
| 60 | 東川町 | 東川オフィシャルパートナー制度 |
| 60 | 音威子府村 | 村立おといねっぷ美術工芸高校の魅力化 |
| 60 | 小平町 | おびら和牛の振興に向けて |
| 61 | 枝幸町 | 労働力・人材不足の解消 |
| 61 | 利尻富士町 | 新産業開拓プロジェクト |
| 61 | えりも町 | えりも岬を蘇らせた漁師たちの実話を基にした映画製作の実現 |
| 62 | 豊頃町 | 過疎地における地域内交通手段の確保 |
| 62 | 中札内村ほか町村 | 日本で最も美しい村ビューティフルデー（鶴居村/黒松内町/美瑛町/赤井川村/標津町/江差町/ 清里町、京極町、中札内村） |

63 道内市町村で利活用が可能な遊休施設

| | | | | | |
|----|-------|------------------|----|----------|------------|
| 63 | 滝川市 | 前江部乙中学校 | 73 | 稚内市 | 旧樺岡小中学校 |
| 64 | 蘭越町 | 大湯沼自然展示館 | 74 | 稚内市 | 旧豊別小中学校 |
| 64 | 積丹町 | 積丹岬キャンプ場 | 74 | 稚内市 | 旧上修徳小中学校 |
| 65 | 積丹町 | 旧入舸小学校 | 75 | 稚内市 | 旧東浦小中学校 |
| 65 | 古平町 | 古平家族旅行村 | 75 | 稚内市 | 旧曙小学校 |
| 66 | 古平町 | 古平町営牧場 | 76 | 稚内市 | 旧下勇知小中学校 |
| 66 | 新冠町 | 旧節婦小学校 | 76 | 稚内市 | 旧稚内西小中学校 |
| 67 | 様似町 | 旧ソビラ荘（特別養護老人ホーム） | 77 | 稚内市 | 旧上勇知小中学校 |
| 67 | 新ひだか町 | 旧春立小学校 | 77 | 土幌町 | 旧西上音更小学校 |
| 68 | 新ひだか町 | 旧鳶舞小学校 | 78 | 上士幌町 | 旧北門小学校 |
| 68 | 旭川市 | 旧千代ヶ岡小学校 | 78 | 厚岸町 | 旧上尾幌小中学校 |
| 69 | 旭川市 | 旧神居古潭小中学校 | 79 | 厚岸町 | 旧床潭小学校 |
| 69 | 旭川市 | 旧旭川第2小学校 | 79 | 標茶町 | 旧久著呂中央小中学校 |
| 70 | 比布町 | 旧蘭留小学校 | 80 | 標茶町 | 旧弥栄小学校 |
| 70 | 上富良野町 | 旧江幌小学校 | 80 | 北海道(南幌町) | 旧北海道南幌高等学校 |
| 71 | 上富良野町 | 旧東中学校 | 81 | 北海道(小樽市) | 旧北海道小樽聾学校 |
| 71 | 中富良野町 | 旧南中小学校 | 81 | 北海道(函館市) | 旧北海道戸井高等学校 |
| 72 | 初山別村 | 旧豊岬小学校 | 82 | 北海道(留萌市) | 旧北海道留萌高等学校 |
| 72 | 稚内市 | 旧更喜苦内小学校 | 82 | 北海道(浦幌町) | 旧北海道浦幌高等学校 |
| 73 | 稚内市 | 旧曲渕小中学校 | | | |

持続可能な開発目標（SDGs（Sustainable Development Goals））とは

- ・2015年9月、国連において採択された国際社会共通の目標であり、先進国、開発途上国を問わず、その達成に向けた取組が広がっています。
- ・北海道においても、これから先の50年、100年後に向け、世界とともに歩む持続可能な地域づくりを進めていくため、先人から受け継いだ多種多様な地域資源を活かしながら、SDGsの達成に向けた取組を積極的に推進していくことが重要です。
- ・このため、道内の個人や企業・団体、NPO、行政機関など各層にSDGsが浸透し、幅広い分野や地域で具体的な取組が展開されるよう、多様な主体が連携・協働する全道的なネットワークとして、「北海道SDGs推進ネットワーク」を設立するなど、SDGs推進に貢献する取組を進めています。



「ほっかいどう応援団会議」とは



エールを北のチカラに。

ほっかいどう 応援団会議

応援の受け皿

応援の見える化

応援団会議参加数 (R5.5月時点)

企業・団体 672団体

個人（道ファン子） 13,087名

※個人の皆様は「道産子」をもじって「道ファン子」と呼んでいます

「ほっかいどう応援団会議」は、多様化・複雑化する地域課題の解決に向け、民間の皆様の知恵やノウハウをいただき、ともに北海道の未来づくりに取り組むことが必要との考えのもと、北海道に想いを寄せる方々の取組や想いを見える化するためのネットワークとして、令和元年9月に発足しました。

官民連携のステップアップ



- ・ふるさと納税
- ・企業版ふるさと納税
- ・その他の寄附・協賛など



- ・包括連携協定の締結
- ・タイアップ事業の実施



- ・企業立地
- ・道産品販路拡大・PR

参加方法

参加にあたって費用負担はございません。
是非ご参加ください。

企業・団体の皆様

詳細は道庁官民連携推進局へ直接お問い合わせください!!

☎ 011-204-5158
✉ hokkaido.ouen@pref.hokkaido.lg.jp

- ポータルサイト等で、参加企業の皆様の応援実績などをご紹介！
- 知事・市町村長がトップセールスを行う「ほっかいどう応援セミナー」を開催！

ほっかいどう応援団会議
ポータルサイトはこちら



個人の皆様

下記QRコードから簡単登録!!
是非ご登録ください!!

- 北海道の応援につながる様々な情報を発信！

LINE公式
アカウント
はこちら



FaceBook公式
アカウント
はこちら



企業版ふるさと納税制度の概要

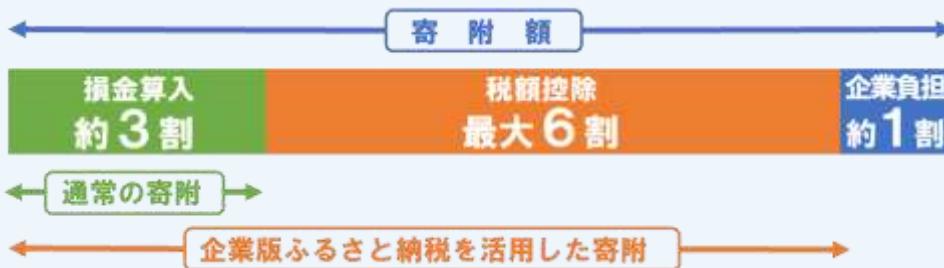
「企業版ふるさと納税」は、企業の皆様が、こころざしを寄附のかたちで地方公共団体の行う地方創生の取組を応援した場合に、税制上の優遇措置が受けることができる制度です。

企業の皆様にとっても大きなメリットのある制度です。本制度を活用し、北海道の未来づくりに向けた取組をともに進めましょう！！

メリット 税軽減は寄附額の最大9割、実質負担は1割！

1

例えば、100万円の寄附をすると、最大約90万円の法人関係税が軽減



活用のチェックポイント

- 本社が所在する自治体への寄附は対象外
(本社が道内の企業は、道庁・所在市町村への寄附は対象外)
- 1回あたり10万円以上の寄附が対象
- 寄附企業への経済的な見返りは禁止

メリット 「社会・地域貢献」や「新たな事業展開」にもつながる！

2

企業のPRに

ふるさと、被災地の復興等への支援

SDGsの達成

社員のモチベーションアップ

北海道(市町村)との新たなパートナーシップの構築

etc

道では・・・

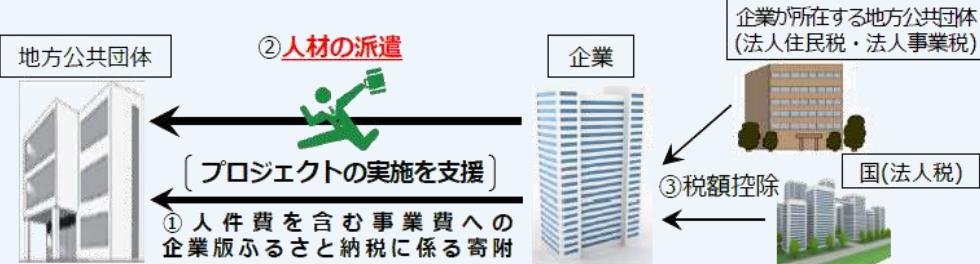
- 感謝状の贈呈のほか、ホームページ・啓発チラシ等で企業名を紹介！

企業版ふるさと納税制度(人材派遣型)の概要

企業版ふるさと納税の仕組みを利用し、企業が専門的知識・ノウハウを有する人材を地方公共団体等に派遣。

その人件費等を含めた事業費を寄附した場合に、税の軽減効果を受けられる制度です。

制度活用イメージ



企業のメリット

- ・人件費相当額を含む寄附額の最大約9割に税の軽減効果
- ・企業ノウハウの活用による地域貢献
- ・人材育成の機会としての活用

地方公共団体のメリット

- ・専門的知識やノウハウを有する人材の登用による地方創生事業の充実・強化
- ・人件費の負担なく人材の受入が可能
- ・関係人口の創出・拡大

企業版ふるさと納税制度の詳細については、こちらをご確認願います

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/krs/tiikisousei-kigyouban-hurusatonouzei.html>



企業版 ふるさと納税 の活用事例

道内市町村において、企業の皆様から応援いただきたい特色のあるプロジェクトをご紹介します。

分野ごとのプロジェクト内容はもちろん、関連するSDGsの目標や市町村担当者へのお問い合わせ先も掲載しています。

掲載プロジェクト数

| | | | |
|----------------------------------|-----------|----------------|-----------|
| 交流人口 関係人口 | 22 プロジェクト | くら子育健して康 | 18 プロジェクト |
| まちづくり | 14 プロジェクト | 産業 | 16 プロジェクト |
| 自然 環境 | 7 プロジェクト | ICT・AI | 4 プロジェクト |
| 文 化 歴 史 ス ポー ツ | 13 プロジェクト | 人材育成 教 育 | 9 プロジェクト |

室蘭市

人口 77,289人(2023.4)
主な観光ポイント
地球岬、室蘭水族館、白鳥大橋

まちの資源を活かし、 新たな「ひと」の流れをつくる事業



地球岬



工場夜景

港や観光資源を活かし交流人口を拡大します

港や歴史・文化などの資源を活かした、交流人口の拡大に向けた取組を一層強化するとともに、観光消費額拡大に向けた「稼ぐ観光」を推進します。

また、従来の観光資源に限らない、新たな視点でまちの資源を活用することで、交流人口の拡大を図るほか、本市の資源や魅力を整理し、市民が共感し自ら発信する機運につなげるための取組を進めるとともに、地域の課題を資源として捉える発想を持ち、企業・大学と連携した取組を進めることで、関係人口を創出します。

事業年度・事業費

令和2年度～令和6年度



Muroran

室蘭が好き。みんなで創る、住み続けたいまち



お問合せ先

室蘭市総務部総務課

☎ 0143-25-2215

✉ soumu@city.muroran.lg.jp

苫小牧市

人口 167,503人(2023.4)
主な観光ポイント
樽前山、ウトナイ湖

交流人口の増加に向けた 「都市再生コンセプトプラン」の実現



新たな賑わいの形を創出した「TOMAKOMAI MIRAI FEST」



先端技術を活用した「苫小牧市スマートシティ構想」

Wポートシティの特性を生かした成長戦略

ウォーカブルなまちづくり、ウォーターフロントの魅力発信、次世代産業の展開、人材育成・多文化共生の4つの促進要因によって掲げられた「都市再生コンセプトプラン」。この実現に向け、都市再生コンテンツ創出事業では、TOMAKOMAI MIRAI FESTや苫小牧クラフトスピアス、レッドイーグルス北海道集客支援等、音楽、食、スポーツの3つの分野で賑わい創出事業を展開します。DXやGXを取り入れた複合ビルの建設や自動運転バス等、より快適な暮らしを目指すスマートシティ構想等といった幅広い分野でコンセプトプラン推進に取り組んでいます。

プロジェクト

苫小牧都市再生コンセプト プラン推進に係る事業

都市再生コンテンツ創出事業/スマートシティ/駅周辺ビジョン推進/MICE/ゼロカーボン等

事業年度・事業費

令和3年度～



駅前再整備のイメージパース



お問合せ先

苫小牧市総合政策部未来創造戦略室

☎ 0144-84-6146

✉ mirai@city.tomakomai.hokkaido.jp

江別市

人口 118,782人(2023.4)
主な観光ポイント
EBRI、江別薦屋書店、ゆめちからテラス

大学生が地域に出会う「ジモ×ガク」



ワークショップ - 三笠市「ジオパーク博物館モニター」 イベント参加・運営 - 南幌町「野祭（やさい）」

地域・地元で学び活躍する学生地域定着事業

江別市には、4つの大学があり、約1万人の学生が在籍しています。「ジモ×ガク」では、市内の大学生が、ボランティア活動や企業訪問などに参加し、多様な立場の方とのコミュニケーションや地域との関わりなどを通して、大学の外に出て様々な経験を得られるよう支援をしています。

この事業は広域連携事業で、江別市のほかに、赤平市、芦別市、三笠市、栗山町、長沼町、南幌町、由仁町の計8市町を活動地域としています。参加学生からは、「ジモ×ガクに参加するようになって、誰かの為になる活動も悪くないなと思うようになった。」など、好評を得ています。

■プロジェクト

学生地域定着自治体連携事業

大学生の地域イベント参加・運営 / ワークショット参加 / 企業訪問・インターンシップなど

事業年度・事業費

平成27年度～
11,715千円(R5・R6)



企業見学 - 江別市「米澤煉瓦」



■お問合せ先

江別市企画政策部企画課

☎ 011-381-1015

✉ daigaku@city.ebetsu.lg.jp

登別市

人口 44,820人(2023.4)
主な観光ポイント
登別温泉、カルルス温泉、登別マリンパークニクス

海外との交流の場と機会の拡大



JICA北海道による国際理解講座

ホストファミリーと海での写真
(デンマーク友好都市中学生派遣事業)

中学生を友好都市デンマーク王国へ派遣！

登別市はホームステイによる外国生活の体験、同年代の外国人生徒との交流等を図るため、市内中学校等の生徒から参加希望者を募集し、デンマーク王国ファロー・ミッドフン市に派遣します。

青少年との交流や日本とは異なる生活・文化の体験を通じ、生徒の豊かな人間性と広い視野を育むとともに、海外との交流を推進します。

■プロジェクト

交流・関係人口の創出・拡大プロジェクト

国際交流推進事業／デンマーク友好都市中学生派遣事業など

事業年度・事業費

令和5年度～
4,000千円



登別地獄祭り (登別温泉)



■お問合せ先

登別市総務部企画調整グループ

☎ 0143-85-1122

✉ kikaku@city.noboribetsu.lg.jp

新篠津村

人口 2,826人(2023.4)
主な観光ポイント
令和5年度 天文台オープン（予定）
ワカサギ釣り体験、農村風景と温泉施設

天文台をキーに交流人口増を！ 地域を元気にする「空のまち」構想



しのつ湖を中心に温泉施設などがある観光エリア



田に映る星空は農村ならではの景色

立地を活かした新たな観光資源「天体観測」

新篠津村は札幌市から約35km、車で約50分という位置にあり、農村環境を活かした観光体験を通じ交流・関係人口増加を目指す取組を進めています。

平坦で視界を遮るものがない、全域が農地化され山林と比べ危険が少ないといった特徴を活かせる「天体観測」を新たな観光テーマに掲げました。今年、大型反射望遠鏡を備えた天文台を建設予定です。天文愛好家や子供たちが訪れ、天体観測を核にしたコミュニティの醸成による交流人口増を目指しています。また、グライダーや飛行機のイベントなど空にまつわる資源を活用する「空のまち」構想で地域活性化を図ります。

■プロジェクト

「空のまち」天文台プロジェクト

天文台整備運営事業／観光特産品開発支援事業 など

事業年度・事業費

令和4年度～令和6年度
65,000千円



星座観測体験会には多くの来場者が集まる



■お問合せ先

新篠津村総務課

☎ 0126-57-2111

✉ kikaku@vill.shinshinotsu.hokkaido.jp

長万部町

人口 4,867人(2023.4)
主な観光ポイント
二股らじうむ温泉、静狩湿原

交流人口・関係人口の創出に向けて



東京理科大学



毛がにまつり

東京理科大学との連携強化

長万部町と町にキャンパスを構える東京理科大学は自律的で持続可能な社会の実現に向け、連携してさまざまな取組を行ってきました。2023年度から学部の改編に伴い、経営学部国際デザイン経営学科の新入生が町で寮生活を送っています。

長万部町で生活し、住民と活動することで地域課題の解決する能力を養い、新幹線駅開業に向けた官民連携による、まちづくりを”デザイン”していきます。

■プロジェクト

東京理科大学と連携したまちづくりプロジェクト

理科大学生の生活環境支援事業／地域交流拠点整備事業

事業年度・事業費

令和5年度～
17,810千円



長万部町



■お問合せ先

長万部町役場まちづくり推進課

☎ 0137-7-2-2450

✉ m.s-k@town.oshamambe.lg.jp

厚沢部町

人口 3,463人(2023.4)
主な観光ポイント
道の駅あっさぶ、レクの森

次の100年を創造する地域の家族と 繋がりをつくる保育園留学



豊かな自然環境に恵まれた認定こども園「はぜる」



Wi-Fi完備の移住体験住宅

保育園留学による超長期的な関係人口創出へ

厚沢部町は、「世界一素敵なお過疎のまち」を目指し、地域と子育て家族をつなぎ、未来をつくる「保育園留学」を実施しています。「保育園留学」は、1週間から3週間、子どもが保育園に通いながら家族で地域に滞在し、滞在先でのテレワークや農作物の収穫体験などができる新たな暮らし体験です。

家族ぐるみの超長期的な関係人口を創出し、今後は保育園留学の更なる推進と受入施設の増設や空き家の活用等を展開し、「子ども」「子育て家族」「過疎地域」にとってよりよい未来を目指します。

■プロジェクト

100年後のまちの未来をつくる「保育園留学」

ワーケーション推進事業/子育て移住促進事業/保育園留学の寮整備事業 など

事業年度・事業費

令和4年度～令和6年度
146,663千円



アスパラ収穫体験の様子



■お問合せ先

厚沢部町政策推進課

☎ 0139-64-3312

✉ s-seisaku@town.assabu.lg.jp

真狩村

人口 1,954人(2023.4)
主な観光ポイント
まっかり温泉、細川たかし像

交流・関係人口や移住者の増加に向けて



羊蹄山を望む真狩村市街地



読書祭りの様子

■プロジェクト

交流・関係人口及び移住者拡大プロジェクト

ワーケーション推進事業/移住定住促進事業/子育て環境整備事業 など

事業年度・事業費

令和3年度～
30,000千円



2020年2月に分譲地「ひかり団地」を整備



■お問合せ先

真狩村企画情報課

☎ 0136-45-3613

✉ kikaku@vill.makkari.lg.jp

妹背牛町

人口 2,674人(2023.4)
主な観光ポイント
遊水公園、カーリングホール

新たな人の流れをつくり交流人口の 増加を図る事業



現在の妹背牛温泉ペペル



隣接する遊水公園のウォータースライダー

開業から30年が経過した観光拠点の挑戦

妹背牛温泉ペペルは、本町の観光拠点として町内外から多くの方々に利用されてきました。しかし、急速に進む人口減少などにより、利用者が減少傾向にあります。

そこで、現在あるサウナを拡張し、オートロウリュを導入。また、露天風呂周辺にバレルサウナを設置します。人気のあるサウナの充実を図り、新たな客層を確保することによって、交流人口の増加と町の活性化を目指します。

■プロジェクト

利用者ニーズを捉え、新たな人の流れをつくるプロジェクト

サウナの充実ほか、浴室・レストラン・売店の改修

事業年度・事業費

令和5年度

1,018,000千円



四季を感じることが出来る露天風呂



■お問合せ先

妹背牛町企画振興課企画振興G

☎ 0164-34-8581

✉ shinkog@town.moseushi.lg.jp

沼田町

人口 2,856人(2023.4)
主な観光ポイント
ほたるの里、ほろしん温泉ほたる館

サテライトオフィス及びワーケーションの推進



仕事に集中できるサテライトオフィス



ほたる学習館内のワーキングスペース

■プロジェクト

地域資源を活かした関係人口
の拡大プロジェクト

お試しサテライトオフィス/
ワーケーション推進/企業誘致 など

事業年度・事業費

令和2年度～



豊かな自然の中でワーケーションしてみませんか



■お問合せ先

沼田町産業創出課

☎ 0164-35-2155

✉ sangyou@town.numata.lg.jp

ワーケーションはぜひ沼田町へ

沼田町では、当町へのオフィス進出のきっかけとしてご利用いただくことができるお試しサテライトオフィスや、自然の中で快適に「ワーク」と「バケーション」の時間を過ごしていただけるワーケーション施設「ほたる学習館」の整備を進めてきました。

これらの施設を活用した、新たな働き方による関係人口の創出・拡大を目指します。

美瑛町

人口 9,514人(2023.4)
主な観光ポイント
白金温泉、丘陵地帯、拓真館

関係人口の創出・拡大から ひと・しごとを呼び込む循環づくり



廃校を利用した研修施設



Wi-Fiを完備した丘のまち交流館bi_yell

交流の場から生まれる地域の活力

美瑛町では、美しい丘陵景観や豊かな自然環境の中で暮らす魅力に加え、旭川空港から車で約15分という首都圏等からのアクセスの良さを活用して、テレワーク、ワーケーションの受け入れを推進しています。

令和3年度に2棟、令和4年度に民間で1棟のテレワーク拠点施設を整備し、町を訪れる多種多様な方々に活動していく場を提供しています。活動の中での町民との交流を通して、関係人口の輪を広げ、将来的な雇用の確保、地域産業の活性化に結び付けていきたいと考えています。

■プロジェクト

関係人口を核としたWell-beingなまちづくり

コ・ワーケーションビレッジ事業/テレワーク推進事業/移住対策事業

事業年度・事業費

令和3年度～令和7年度
98,083千円



1棟貸しのテレワーク拠点施設



■お問合せ先

美瑛町まちづくり推進課

☎ 0166-92-4330

✉ machi@town.biei.hokkaido.jp

中富良野町

人口 4,627人(2023.4)
主な観光ポイント
町営ラベンダー園、ファーム富田

観光入込客数の増加や農産物のPR



夏の北星山ラベンダー園



初冬の北星山ラベンダー園
(この後スキー場になります)

■プロジェクト

地域に広げる観光の波及効果

新たな観光拠点の整備/ご当地グルメ・特産品の開発/サイクルツーリズムの推進 など

事業年度・事業費

未定



個人利用向けテレワーク施設



■お問合せ先

中富良野町企画課

☎ 0167-44-2123

✉ kikaku@nakafurano.jp

南富良野町

人口 2,317人(2023.4)
主な観光ポイント
かなやま湖、南富良野物産センター

重点「道の駅」や周辺での賑わい 創出支援



生まれ変わる道の駅



かなやま湖でのカヌー体験の様子

アウトドア観光拠点と交流促進を目指して

「道の駅南ふらの」は令和2年1月に、国土交通省から重点「道の駅」に選定されました。

これを機に、インバウンドを含めた多様な来訪者に対応した情報発信機能の整備、都市間バス・デマンドバスの交通結節機能の強化、おむつや液体ミルクの備蓄など子育て世代にも安心の防災拠点整備などを進め、体験型アウトドア観光の拠点及び地元と来訪者との交流促進の場として、道の駅本体とその周辺地域の整備を進めていきます。

事業年度・事業費

令和2年度～令和5年度



かなやま湖畔にあるキャンプ場



お問合せ先

南富良野町企画課企画振興係

☎ 0167-52-2115

✉ kikaku@town.minamifurano.hokkaido.jp

中川町

人口 1,305人(2023.4)
主な観光ポイント
中川町エコミュージアムセンター

中川町地域商社と東京都世田谷区 サテライトスペース連携事業



パンケ山頂MTBコース



冬のMTB体験

■プロジェクト

中川町地域商社と東京都世田谷区
サテライトスペース連携事業
(MTBコースの開発)

使われなくなった牧場にMTB
コースの設置

事業年度・事業費

令和2年度～令和6年度

220,090千円



天塩川カヌー体験

森林内や使われなくなった牧場を MTBコースとして再生！

中川町では、町内にDMO機能を有する地域商社を、東京都世田谷区サテライトスペースを設け、都市と山村交流による関係人口の増加や移住の促進を進めています。令和3年～6年にかけて森林内や使われなくなった牧場にMTBコースを設置していきます。

また、北海道大学研究林との間で、「北海道大学中川研究林公認ガイド制度」の創設に取り組んでおり、エコモビリティ推進事業と連携した産業、雇用創出や関係人口の増加を目指します。



お問合せ先

中川町産業振興課産業振興室

☎ 01656-7-2816

✉ nakagawasangyo@town.nakagawa.hokkaido.jp

遠別町

人口 2,377人(2023.4)
主な観光ポイント
道の駅「えんべつ富士見」、旭温泉、富士見ヶ丘公園

まちのシンボル再生による 新たな交流拠点の整備



とんがりかん（外観）



とんがりかん（内観）

子ども向け屋内遊戯場兼ワーケーション施設

遠別町は、北海道の左上、稚内市から日本海沿いに約90キロ南下した地点に位置し、農業・漁業を中心とする第一次産業が主体で、利尻島を背景に日本海に沈む夕日が美しい人口約2,400人の小さなまちです。

令和2年に閉館となった遠別町のシンボルマーク「とんがりかん」を子ども向けの屋内遊戯場とテレワーク・ワーケーション施設として再利用し、子育て環境の充実や交流・関係人口の増加を目指します。

■プロジェクト

まちのシンボル「とんがりかん」 再生プロジェクト

子ども向け屋内遊戯場とワーケーション施設を整備

事業年度・事業費

令和5年度

420,000千円



遠別町の四季の様子



■お問合せ先

遠別町総務課企画振興係

☎ 01632-7-2111

✉ kikaku@town.embetsu.hokkaido.jp

利尻富士町

人口 2,204人(2023.4)
主な観光ポイント
利尻礼文サロベツ国立公園

関係人口拡大、移住・定住促進事業



町内初の民間賃貸住宅



移住・定住促進住宅（町営）

■プロジェクト

移住・定住促進事業

移住・定住ポータルサイトの設立・運営／移住後のコミュニティづくりのサポート／移住・定住促進住宅の整備

事業年度・事業費

平成30年度～

192,600千円



利尻富士町ワーケーション事業



■お問合せ先

利尻富士町企画政策課

☎ 0163-82-2850

✉ kikaku@town.rishirifuji.hokkaido.jp

西興部村

人口 1,020人(2023.4)
主な観光ポイント
森林公園、森の美術館「木夢」

日本最北のバッティングセンターがある 「森林公園リニューアル事業」



公園内で行うイベントの様子



公園内にあるキャンプ場

～たくさんの人々が集う場所を目指して～

バッティングセンターが全国各地で消えゆく中、日本最北に位置する施設が森林公園にあり、全国大会に出場した地元中学生をはじめ、遠方から野球少年や腕に覚えのある年配の方もバットを振りに訪れます。

昭和53年に開設した森林公園には、家族連れやライダーなど多くの人々が利用するキャンプ場や小さな子も遊べる遊具などもありますが、いずれも老朽化していることから、全面的なリニューアルを行います。

交流人口の増加やスポーツの振興、子どもたちの健全育成のため、企業の皆様のご支援をお待ちしております。

■プロジェクト

森林公園リニューアル事業

バッティングセンター、キャンプ場、遊具など、森林公園の大規模改修

事業年度・事業費

令和4年度～令和5年度
250,000千円



バーチャル型に生まれ変わる日本最北のバッティングセンター



■お問合せ先

西興部村企画総務課

☎ 0158-87-2111

✉ ni.kikaku@vill.nishiokoppe.lg.jp

様似町

人口 3,949人(2023.4)
主な観光ポイント
アポイ岳、親子岩ふれ愛ビーチ

アポイ岳ユネスコ世界ジオパーク によるまちづくり



ジオツアービュー



異業種交流会

ジオパークを核とした持続可能なまちづくり

アポイ岳を核心地域とする様似町は「アポイ岳ユネスコ世界ジオパーク」として、平成27年11月にユネスコ世界ジオパークに認定されました。

ジオパークは、貴重な地質遺産の保全とそれを活かした持続可能なまちづくりを行うことを目的としており、地域資源の啓発やガイド養成、観光まちづくりセミナーや異業種交流会の開催などにより、地域の人材育成に取り組むとともに、ジオツアーや海外プロモーションを通じ、滞在型観光客の増加を図るなど、ジオパークを核とした総合的なまちづくりを実践しています。

■プロジェクト

観光客誘致・人材育成事業

ジオパークガイド養成事業／
ジオツアーの実施／情報発信ツールの整備・拡充 など

事業年度・事業費

平成30年度～



アポイ岳保全事業（ドリームプロジェクト）



■お問合せ先

様似町企画調整課

☎ 0146-36-2122

✉ kikakutouseika@samani.jp

新ひだか町

人口 20,691人(2023.4)
主な観光ポイント
二十間道路桜並木、三石海浜公園

「二十間道路桜並木」の感動の世界へ



北海道遺産「二十間道路桜並木」



若木の植樹

桜並木の計画的な保存・整備

新ひだか町の「二十間道路桜並木」は、幅36メートル(二十間)、長さ7キロメートルを誇り、町のシンボルであるとともに、花見シーズンには全国から多くの観光客が訪れます。しかし、桜の多くは樹齢100年を超えており、自然災害による倒木や害虫被害などで本数が減少しており、桜並木全体の抜本的な整備が必要な状況です。

新たな桜の見どころをつくりだし、将来にわたり訪れる皆様に感動していただけるよう、計画的な保存・整備を進めています。

事業年度・事業費

平成30年度～
各年度6,000千円



外科処置後の整形



お問合せ先

新ひだか町総務部まちづくり推進課
☎ 0146-49-0293
✉ keizai@town.shinhidaka.lg.jp

広尾町

人口 6,072人(2023.4)
主な観光ポイント
大丸山森林公園、サンタの家

サンタの森を活用し、 林業振興・交流人口の拡大をめざす！



町産木材のウッドイルミネーション



旧野塚小学校

■プロジェクト サンタの「杜」・「森」創造事業

広尾サンタランドウッドプロジェクト/集いの杜プロジェクトなど

事業年度・事業費

令和5年度
32,374千円



旧野塚小学校での整備作業の様子



お問合せ先

広尾町企画課企画防災係
☎ 01558-2-0184
✉ k-kikaku@town.hiroo.lg.jp

町産木材のブランド化と廃校再生に向けて

広尾町の約8割を覆う豊かな森林「サンタの森」を活用した二つの事業を展開します。「広尾サンタランドウッドプロジェクト」では、町産木材のブランド「広尾サンタランドウッド」の利用促進や価値向上、ゼロカーボンの実現に取組みます。「集いの杜プロジェクト」では、廃校となった小学校を、広尾町ならではの体験活動やワーキング等ができる複合施設へと整備し、笑顔・魅力・やりがいが集まる場所に再生します。

本町の取組を応援していただける企業の皆様からの連絡をお待ちしております。

広尾町

人口 6,072人(2023.4)
主な観光ポイント
大丸山森林公園、サンタの家

広尾サンタランドの魅力を発信、 関係人口の増加をめざす！



大丸山森林公園のイルミネーション



イルミネーション点灯式の様子

夢とロマンあふれる、まち全体がサンタランド

広尾町は、サンタの故郷ノルウェーオスロ市から認められた、日本で唯一の「サンタランド」です。この「唯一」であることの価値を町民が再認識し、町外から来る人も町民も、あらゆる人が楽しむことができるよう、まちぐるみで「サンタランド」の魅力に磨きをかけます。

本町の取組を応援していただける企業の皆様からの連絡をお待ちしております。

■プロジェクト サンタランドの魅力向上 プロジェクト

イルミネーション設置・購入事業
/サンタランドツリー点灯式

事業年度・事業費

令和5年度

28,714千円



観光案内所「サンタの家」の店内



■お問合せ先

広尾町企画課企画防災係

☎ 01558-2-0184

✉ k-kikaku@town.hiroo.lg.jp

標茶町

人口 7,096人(2023.4)
主な観光ポイント
釧路湿原、多和平

観光情報と環境保全啓発の発信拠点再整備による交流人口の拡大と上質な滞在環境の創出



完成イメージパース図



左から、原研哉氏、隈研吾氏、佐藤町長

上質な滞在環境の創出

釧路湿原国立公園内にある唯一の宿泊施設が経営破綻により休業状態となっていることから、建築家隈研吾氏の設計とデザイナー原研哉氏のデザインにより、アドベチャーツーリズムやインバウンドに対応できる魅力ある観光施設として再生します。

周辺のキャンプ場や遊歩道等を活用した野生生物観察などの自然体験アクティビティとも連携した形での魅力ある宿泊体験・自然体験を提供し、国立公園らしい上質な滞在環境を創出し、交流人口の拡大と町の活性化を目指します。

■プロジェクト

釧路湿原国立公園茅沼地区観光宿泊施設エリア上質化事業

宿泊施設のリノベーション/
周辺施設の環境整備

事業年度・事業費

令和3年度～令和6年度



シラルトロ湖の夕日



■お問合せ先

標茶町企画財政課企画調整係

☎ 015-485-2111

✉ k_kikaku@town.shibecha.lg.jp

函館市

人口 242,467人(2023.4)
主な観光ポイント
函館山、西部地区、五稜郭

- 1市民一人ひとりの幸せを大切にする事業
- 2函館の経済を支え強化する事業
- 3快適で魅力あるまちづくりを進める事業



函館の夜景



子育て環境

■プロジェクト

「函館市まち・ひと・しごと創生推進計画」の方向性に沿った各種事業

事業年度・事業費

—

—



食のイベント

函館市では、市民が幸せを実感しながらいつまでも住み続けたくなるまちとなるよう、福祉拠点を中心とした地域で見守り支え合う仕組みづくりや、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備、観光振興による交流人口の拡大、若者をはじめとする雇用の場の確保など、各種施策を推進しています。



■お問合せ先

函館市企画部計画推進室計画調整課

☎ 0138-21-3693

✉ keikakuchosei@city.hakodate.hokkaido.jp

旭川市

人口 322,527人(2023.4)
主な観光ポイント
さんろく街、ICTパーク、北彩都ガーデン

新時代をリードする北・北海道の中心都市



多くの飲食店が並ぶ「さんろく街」



eスポーツ施設「ICTパーク」

■プロジェクト

先端技術や地域の強みを活用したまちづくり

IT企業進出支援/デザイン推進/農産物等流通拡大支援/旭川大雪圏プロモーション など

事業年度・事業費

令和2年度～



新庁舎とともに新時代を歩む



DX×デザイン×食×医療で北海道を牽引

旭川市は、自然と都市機能が調和した日本最北の拠点都市です。DX・デザイン・食・医療を中心としたまちづくりに取り組んでおり、IT企業進出の支援やICT技術を活用した市民サービスの提供、「ユネスコ・デザイン都市旭川」としてのデザイン思考による産業振興や人材育成、安心安全な地場の農産物を活用した食品加工や市場開拓、医療集積の特長を生かした都市機能の充実など、旭川大雪圏の周辺町と連携して様々な事業を展開しています。

令和5年度に生まれ変わる新庁舎を象徴に、新時代をリードしながら魅力あふれるまちづくりを進めていきます。

■お問合せ先

旭川市行政改革課

☎ 0166-25-6205

✉ gyoukaku@city.asahikawa.lg.jp

恵庭市

人口 70,069人(2023.4)
主な観光ポイント
花の拠点 はなふる

アプリを使ったつながるまちづくり



公式ポータルアプリ えにわっか



花の拠点 はなふる

異なる分野をつなげる一体的な施策展開

恵庭市では公式ポータルアプリを開発し、
① 観光、② 市民生活、③ 経済、④ まちづくり、4つの異なる施策をつなげ、楽しみながら歩く工夫により、効果的な健康増進に取り組み、持続可能なまちづくりを目指しています。

- 通年で全世代が参加できる仕組みによる体力・健康増進
- 歩く環境の更なる充実、自転車活用による環境負荷低減
- マイクロツーリズムによる地域経済循環の創出
- 交流人口、関係人口の増加による更なる魅力の拡充

■プロジェクト

恵庭らしさを活かした 魅力あるまちづくり

新ガーデンデザインプロジェクト
推進事業

事業年度・事業費

令和3年度～令和5年度

900,000千円



公式ポータルアプリ ロゴ



■お問合せ先

恵庭市企画課企業版ふるさと納税担当

☎ 0123-33-3131

✉ kikaku@city.eniwa.hokkaido.jp

石狩市

人口 57,796人(2023.4)
主な観光ポイント
道の駅石狩「あいろーど厚田」、
はまなすの丘公園、浜益温泉

産業と共に成長する一人ひとりに 寄り添った住みよいまちへ



石狩湾新港



トレッキング事業

企業誘致と移住定住の事業を展開

石狩市は札幌市に隣接し、都市の便利さがありつつも、日本海、石狩川など豊かな自然に恵まれたまちです。

道内最大級の工業団地である石狩湾新港地域の発展を進め、地域で暮らす住民が住みよい街になるように次の取組を進めています。

- 地域の特性を活かした産業活性化推進事業
- 多世代や外国人が安心して生活できる共生のまち推進事業
- 人のつながりが街の愛着につながるまちづくり事業
- 街の魅力が街の誇りとなるまちづくり事業

■プロジェクト

地方創生推進プロジェクト

観光／移住定住／企業誘致／地域
公共交通／文化芸術／スポーツ

事業年度・事業費

—

—



観光デジタルマップ



■お問合せ先

石狩市企画経済部企画課

☎ 0133-72-3161

✉ kikaku@city.ishikari.hokkaido.jp

当別町

人口 15,304人(2023.4)
主な観光ポイント
スウェーデンヒルズ、道民の森

ロイズタウン駅を中心としたまちの 新たな周遊空間の創造



ロイズタウン駅



駅前広場

新駅を活かしたまちの魅力発信拠点へ

大手チョコレート製造メーカーである(株)ロイズコンフェクトの集客機能を兼ね備えた工場の増設を契機に、(株)ロイズコンフェクトと当別町がJR北海道に対し請願した新駅

【ロイズタウン駅】が令和4年3月に開業しました。

ロイズタウン駅を中心に、ロイズコンフェクトロイズタウン工場、道の駅、いちご観光農園、温泉施設など周遊性を向上させ、当別町の魅力を発信するとともに、交流人口の増加を狙うほか、周辺農地を活用した農業と観光を調和させたまちづくりなどの取組を、公民連携で推進していくと考えています。

■プロジェクト

新しいまちの顔づくり プロジェクト

農業テーマパークなどの誘致/スマート農業/自動運転実証/5G環境の整備/地中熱の活用

事業年度・事業費

令和2年度～未定

1,590,000千円



5G活用イメージ



■お問合せ先

当別町企画部事業推進課事業推進係

☎ 0133-23-3198

✉ toshikei@town.tobetsu.hokkaido.jp

知内町

人口 3,957人(2023.4)
主な観光ポイント
北島ギャラリー、矢越クルーズ、北海道最古の温泉

知内町ふるさと創生事業



農業用ドローン



扱い手センター

■プロジェクト

ふるさと創生プロジェクト

くらし/産業/子育て/移住定住/再エネ導入促進等に向けた総合的な支援

事業年度・事業費

令和5年度

38,000千円



知内町（空撮）



■お問合せ先

知内町政策調整課

☎ 01392-5-6161

✉ mono@town.shiriuchi.hokkaido.jp

鹿部町

人口 3,601人(2023.4)
主な観光ポイント
しかべ間歇泉公園、ひょうたん沼公園

地域経済の好循環拡大と定住移住に取り組む



鹿部漁港と北海道駒ヶ岳



道の駅しかべ間歇泉公園

笑顔あふれ 光り輝くまちづくり

鹿部町では、「第2期鹿部町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標を推進させることで、鹿部町に住む人の年齢や価値観、暮らし方などはさまざまですが、日々の生活を幸せに感じながら、笑顔で住み続ける人が多く見られるまちづくりをめざしています。

また、鹿部町を訪れる人達には、笑顔で暮らしている住民を見て、また来たい、住んでみたいという気持ちや行動がうまれるまちづくりを進めています。

事業年度・事業費

令和3年度～令和6年度



鹿部稻荷神社例大祭(稚児行列の子ども)



お問合せ先

鹿部町企画振興課

☎ 01372-7-5297

✉ kikaku@town.shikabe.hokkaido.jp

江差町

人口 6,874人(2023.4)
主な観光ポイント
かもめ島、江差追分会館、いにしえ街道

観光客や住民が集う拠点施設を整備 ～北の江の島構想～



江差町のシンボルかもめ島と開陽丸



かもめ島ではマリンピングが楽しめる

工工町江差で工工時間を

江差町のシンボル「かもめ島」とその周辺の海は、駐車場からも近く春夏秋に安全に遊べる場所として道南でも数少ない自然豊かな海浜公園です。

拠点施設はその自然環境に加え天候を気にすることなく「子育て世代が日常的に集い、交流し、憩う場」とするべく子どもの遊び場を中心に据えつつ、大人のニーズも捉えた施設とし、親子連れにとって道南エリア満足度ナンバーワンの施設を目指します。

プロジェクト

北の江の島拠点施設整備

海の駅「開陽丸」に新たに道の駅機能を付加した観光拠点・町民が集う施設を整備

事業年度・事業費

令和3年度～



実寸大で復元された開陽丸 (内部は記念館)



お問合せ先

江差町まちづくり推進課

☎ 0139-52-6712

✉ etsuko.akiyama@town.hiyama-esashi.lg.jp

黒松内町

人口 2,566人(2023.4)
主な観光ポイント
歌才ブナ林、黒松内温泉「ぶなの森」

訪れたくなるまちをつくる



道央と道南を結ぶ交通拠点でもある
道の駅くろまつない



大人気のドイツパン風ピザ

まちの顔となる「道の駅」のリニューアル

黒松内町の観光の拠点施設である「特産物展示販売施設道の駅くろまつない トワ・ヴェールⅡ」は開館から20年余りが経過し、手作りパンやピザなどここでしか味わえないオリジナルの特産品が大好評です。

しかし、施設の老朽化が進んでいることや、コロナ禍におけるニューノーマルを踏まえた新たな対応が求められていることから、全面的なリニューアルを行い、これまで以上に観光客や地域住民が集まり交流人口が拡大し、町の活性化に寄与する施設として整備します。

■プロジェクト

「ブナ里ビレッジプライドプロジェクト」

道の駅くろまつないの大規模改修 など

事業年度・事業費

未定



黒松内町の農村の風景



■お問合せ先

黒松内町企画環境課

☎ 0136-72-3376

✉ kikaku@town.kuromatsunai.hokkaido.jp

南幌町

人口 7,610人(2023.4)
主な観光ポイント
南幌温泉ハート&ハート、中央公園、
子ども室内遊戯施設はれっぱ、

中央公園における 新たな賑わい創出の場の整備



子ども室内遊戯施設を中心とした賑わい創出広場（イメージ）

「なんぽろライフ」の実現に向けた地方創生

子ども室内遊戯施設「はれっぱ」の開業に合わせ、中央公園内に憩いの場や賑わいの場を創出するための花壇や芝生広場、植栽のほか、キッチンカーの利用を促進する屋外の電源等を整備します。

■プロジェクト

賑わい創出広場整備事業

中央公園及び子ども室内遊戯施設はれっぱの周辺環境の整備

事業年度・事業費

令和5年度

91,300千円



令和5年5月にオープンした
子ども室内遊戯施設「はれっぱ」



■お問合せ先

南幌町まちづくり課

☎ 011-398-7019

✉ g-kikaku@town.nanporo.lg.jp

安平町

人口 7,310人(2023.4)
主な観光ポイント
鶴の湯温泉、鹿公園、鉄道資料館

北海道胆振東部地震で被災した早来中学校 の再建により教育とコミュニティを再生



■プロジェクト 未来へつながる 復興まちづくりプロジェクト

早来中学校再建事業

事業年度・事業費

令和3年度～令和5年度

3,432,287千円



復興のシンボルとなる早来学園の開校

北海道胆振東部地震による被災から約4年間、仮設校舎での学校生活を余儀なくされていましたが、令和5年4月に小・中一体型の「安平町立早来学園」が開校しました。

子どもたちの未来に向けて、また、復興のシンボルとして、早来学園は社会のグローバル化に対応した英語教育環境やICT環境の充実化、さらには多様性を育む環境づくりを行いながら、地域に開かれた学校づくりに取り組むこととしています。

■お問合せ先
安平町政策推進課
☎ 0145-29-2751
✉ k-yuuchi@town.abira.lg.jp

釧路町

人口 18,761人(2023.4)
主な観光ポイント
釧路湿原国立公園、厚岸霧多布昆布森国定公園

釧路町の魅力増進を目指して



釧路湿原



釧路湿原でのカヌーツアー

■プロジェクト 釧路町のブランディング推進事業

町の認知度等に関する現状把握／
目指すべき方向性の検討／町のブ
ランディング

事業年度・事業費

令和5年度

7,900千円



昆布森漁港



■お問合せ先
釧路町ふるさと納税推進室
☎ 0154-62-2310
✉ furusato@town.kushiro.lg.jp

豊かな自然と生きがいあふれるまち

釧路町は、ひがし北海道に位置し、2050年に向けたゼロカーボンシティ宣言をするなど、豊かな自然と生きがいあふれるまちを目指しています。

現状では、北海道釧路町の認知度は、全国各地からみると決して高いとは言えず、更なる魅力増進が不可欠です。釧路町には、細岡展望台からの大観峰、カヌー体験、棹前昆布、仙鳳趾名産牡蠣など様々な資源があることから、これを活用し、釧路町ブランドを感じさせる取組を展開します。

厚岸町

人口 8,484人(2023.4)
主な観光ポイント
道の駅「厚岸味覚ターミナル・コンキリエ」、
町のシンボル「厚岸大橋」、桜の名所「子野日公園」

離れたくないまち “あっけし”実現プロジェクト



町民の叫び



厚岸産のカキ&厚岸ウイスキー

私たちの命と暮らしを守ってください！！

生まれ育ったふるさとに住み続けることは地方創生の推進に大きく寄与する重要な施策の一つです。

ブランドカキ「カキえもん」「弁天かき」や「厚岸ウイスキー」などの特産品を全国に送り届け続ける厚岸町を守るために、本事業へのご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

～ご寄附をいただいた企業様へのお礼～

新しい施設が完成したあつきには、完成写真と併せて地区住民から直接、お礼のお手紙を差し上げたいと考えております。

事業年度・事業費

令和4年度～令和7年度

2,817,892千円



厚岸大橋



お問合せ先

厚岸町総合政策課

☎ 0153-52-3131

✉ seisaku@akkeshi-town.jp

中標津町

人口 22,402人(2023.4)
主な観光ポイント
開陽台展望台、格子状防風林

外国『人財』の誘致と 多文化共生のまちづくり



町民と在留外国人との地域交流



日本語学校

海外の成長エネルギーを地域の活力へ

中標津町では、令和3年4月に開校した日本語学校を中心に、その留学生を含めた多文化共生の推進を図っています。

人口減少・少子高齢化が進行する中、町の産業人材の不足に対応するためには、外国人材を地域における貴重な『人財』として、海外の成長エネルギーや新たな発想力を地域の活力とする事が重要であり、海外プロモーションによる外国人財の誘致や、日本語学校留学生に対する生活支援、地域交流を進め、町の活性化を図ります。

■プロジェクト

(仮称) 厚岸町防災交流センター整備事業

津波災害時の避難をより確実なものとするため、津波避難施設を整備

事業年度・事業費

令和4年度～令和7年度

2,817,892千円



留学生母国紹介



お問合せ先

中標津町総務部政策推進課

☎ 0153-73-3111

✉ kikaku@nakashibetsu.jp

乙部町

人口 3,299人(2023.4)
主な観光ポイント
滝瀬海岸（シラフラ）、縁桂、館の岬

交流・関係人口や観光客の増加に向けて



宮の森公園



シラフラ展望台

滝瀬海岸（シラフラ）環境整備事業を提供

乙部町は北海道の南西部に位置し、日本海側ならではの様々な岬などの観光資源を活かし、交流・関係人口や観光客の増加に向けた取組を進めています。

中でも、滝瀬海岸（シラフラ）の展望台や駐車場、海岸への階段等を整備するリノベーションを図り、観光地としての魅力や町の知名度の向上及び観光客の増加を目指していきます。

事業年度・事業費

令和5年度～令和6年度



シラフラ



お問合せ先

乙部町総務課企画係

☎ 0139-62-2311

✉ kikaku@town.otobe.lg.jp

京極町

人口 2,785人(2023.4)
主な観光ポイント
ふきだし公園、羊蹄山

北海道遺産「ふきだし湧水」を守る



ふきだし公園湧水口



ふきだし公園下池（逆さ羊蹄）

プロジェクト

水資源の保全と活用

水源地周辺の植樹／公園施設等の環境整備

事業年度・事業費

令和2年度～



ふきだし公園内のリス



お問合せ先

京極町企画振興課

☎ 0136-42-2111

✉ kikaku@town-kyogoku.jp

羊蹄山が育む豊かな水資源

蝦夷富士「羊蹄山」に降った雪や雨が長い年月をかけて濾過され流れ出る「京極のふきだし湧水」は、1日に約8万トン、30万人の生活水に匹敵する湧水量を誇る国内最大級の湧水であり、おいしい水を求めて多くの人が訪れます。

北海道遺産や名水百選にも選ばれている、この自然の恵みを次の世代に残していくため、「ふきだし湧水」の保全と活用を目的として、水源地周辺の植樹や隣接するふきだし公園施設などの環境整備を進めています。

長沼町

人口 10,097人(2023.4)
主な観光ポイント
道の駅「マオイの丘公園」

タンチョウも住めるまちづくり



舞鶴遊水地で繁殖したタンチョウ親子
(提供:タンチョウも住めるまちづくり検討協議会)



長沼舞鶴小学校（令和2年3月閉校）

タンチョウが繁殖した遊水地や小学校跡地を活用した拠点づくり

長沼町はかつて沼や湿原が広がり、タンチョウの繁殖地として知られていました。「環境保全」と「産業振興」の両立を目指して、平成28年度から「タンチョウも住めるまちづくり」を開始し、令和2年、町内の治水施設・舞鶴遊水地でタンチョウの雛が100年以上ぶりに誕生しました。

タンチョウの保護と主要産業である農業との共生、持続可能な観光を実現するため、舞鶴遊水地を核に近隣の長沼舞鶴小学校跡地（令和2年3月閉校）等を活用した「田園と自然の共生拠点」整備構想を検討しています。

■プロジェクト

舞鶴遊水地周辺を活用した交流拠点づくり

田園と自然の共生施設整備

事業年度・事業費

未定

—



舞鶴遊水地の自然を活用した環境学習
(奥の建物は観察施設「鳥の駅マオイトー」)



■お問合せ先

長沼町政策推進課

☎ 0123-76-8016

✉ sei.sakusuishinka@ad.maoi-net.jp

栗山町

人口 10,968人(2023.4)
主な観光ポイント
いきものの里オオムラサキ館

ハサンベツ里山の保全活動事業



薪づくり体験



田植え体験

■プロジェクト

自然環境の保全・再生活動への支援

ハサンベツ里山の整備、自然体験教育の充実

事業年度・事業費

令和2年度～



自然体験教育



■お問合せ先

栗山町教育委員会社会教育課

☎ 0123-72-1117

✉ syakaikyouiku-g@town.kuriyama.hokkaido.jp

豊かな自然と子どもの笑顔を次世代に

市街地に隣接した栗山町ハサンベツ地区一帯は、約20年の歳月をかけ「人と自然との共生」をテーマとした自然体験教育フィールドに再生しました。

これまでに、ホタル・トンボ水路の整備や、子ども達が遊べる小川や体験田んぼの造成、ハサンベツ川の環境再生など町民主体の里山計画を実践しており、現在子ども達がこの環境を活用した自然体験教育を行っています。

今後もこの豊かな自然環境と子ども達の笑顔を次世代へ残し続けるため、保全活動事業を進めていきます。

東神楽町

人口 9,927人(2023.4)
主な観光ポイント
東神楽森林公园、森のゆ花神楽、ウパシの森

ゼロカーボン象徴！緑に囲まれた新庁舎！



新庁舎（正面）



新庁舎（鳥瞰）

豊かな森林資源の回復を目指す

役場機能を含めた新しい町のシンボルとなる複合施設を整備します。東神楽町出身の建築家で、2025年大阪・関西万博会場デザインプロデューサーを務める藤本壯介氏が設計し、環境や景観に配慮したプランが完成しました。既存の建物を活かしつつ、円形回廊などを巧みに組み合わせ、新施設全体を取り囲むように木々を配しています。

自然との調和がとれた「緑に囲まれた新庁舎」は、全国でも他に例を見ません。正面には「花のまち」らしい約3,600m²の美しいガーデンを造成予定であり、いただいた寄附金はガーデンの整備に活用させていただきます。

事業年度・事業費

令和5年度～令和6年度
121,000千円



新庁舎（外道）



お問合せ先

東神楽町まちづくり推進課

☎ 0166-83-2113

✉ kikaku@town.higashikagura.lg.jp

厚真町

人口 4,355人(2023.4)
主な観光ポイント
大沼野営場、浜厚真海岸

被災から、森林再生に向けて



被害木を整理した斜面



地震により崩壊した森林

豊かな森林資源の回復を目指す

平成30年北海道胆振東部地震により、町内では3,200ha(32km²)を超える森林が崩壊しました。発災前の森林へ再生させるには、長い年月とともに多額の費用もかかります。

下流域の災害対策や漁業の観点からの土砂の流出防止等、ゼロカーボンに向けたCO₂吸収源としても捉えながら、森林資源の回復を図っています。

また、企業版ふるさと納税に限らず、企業の皆様との連携もあわせて行っています。

プロジェクト

森林再生プロジェクト

作業道の整備／被災木の搬出／植栽／定期的な間伐 など

事業年度・事業費



植樹活動の様子



お問合せ先

厚真町まちづくり推進課

☎ 0145-27-3179

✉ kikaku@town.atsuma.lg.jp

鶴居村

人口 2,467人(2023.4)
主な観光ポイント
つるいむら湿原温泉ホテル、どさんこ牧場、
鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

自然環境に配慮した森づくりを目指して



高密度に整備された路網



釧路湿原の上流森林として

上流森林として自然に配慮した森づくりを

釧路湿原国立公園の上流域に位置する鶴居村では、上流森林として特に自然環境に配慮した森林施業を率先して実施しており、高密度な路網を整備することによって、これらの施業を行うことができるほか、昨今ではマウンテンバイクコースや乗馬コース等に利用するなど、多面的な利用を行っています。

これらを推進することによって、鶴居村の林業を衰退させないよう安定した事業量を確保しつつ、周辺環境の保護・保全を図るとともに地域観光等を活性化させます。

■プロジェクト

森林整備推進プロジェクト

村有林の森林整備推進をはじめ、私有林の森林整備推進が図られる施策を実施する。

事業年度・事業費

令和5年度～

100,000千円（R5）



手入れが行き届いた山林



■お問合せ先

鶴居村企画財政課

☎ 0154-64-2112

✉ tsuruimurazukuri@vill.tsurui.lg.jp

北見市

人口 112,305人(2023.4)
主な観光ポイント
ハッカ記念館、ピアソン記念館

トップアスリートのニーズに対応する 先導的なカーリングホールの活用



アルゴグラフィックス北見カーリングホール



最先端の競技力向上支援システム

合宿関連産業への経済波及効果を期待

北見市では、地域資源であるカーリングを活用した地方創生を推進しています。令和2年10月には、北見工業大学の最先端スポーツ科学研究を実用化した高度な競技力向上支援機能を有する先導的な施設「アルゴグラフィックス北見カーリングホール」がオープンしました。

当施設を活用し、合宿誘致や体験型観光、オリンピックで銅メダルを獲得した女子チーム「ロコ・ソラーレ」の後進となる人材の育成、国内外大会の開催、小中学校の授業での活用など、カーリングの持続的発展と地域の活性化に向けて様々な取組を進めていきます。

■プロジェクト

地域資源カーリングを活かした
交流人口拡大プロジェクト

合宿誘致／国内外大会の開催／
人材育成 など

事業年度・事業費

令和2年度～



カーリングのまち北見市



■お問合せ先

北見市企画財政部企画政策課

☎ 0157-25-1103

✉ kikaku@city.kitami.lg.jp

美唄市

人口 19,332人(2023.4)
主な観光ポイント
宮島沼、アルテピアツツア美唄

ベースボールを核とした地域活性化



美唄ブラックダイヤモンズ



清掃ボランティア活動

■プロジェクト

「美唄ブラックダイヤモンズ」
応援プロジェクト

球場等の環境整備／スポーツを通じたこどもの育成／交流人口・関係人口拡大 など

事業年度・事業費

令和5年度

15,000千円



市内の子どもたちと交流



■お問合せ先

美唄市美唄デザイン課デザイン係

☎ 0126-62-3137

✉ kikaku@city.bibai.lg.jp

美唄からNPBへ！若者の夢を応援！！

北海道初の野球独立リーグの立ち上げ当初から、美唄市に本拠地を置く球団「美唄ブラックダイヤモンズ」。

野球や地域活動等を通じ、労働力不足の解消や交流人口の増加、関係人口の創出、コミュニティの形成、シビックプライドの醸成など地域に大きな活力をもたらしています。

本プロジェクトで集まった寄附は、球場等の環境整備、スポーツを通じたこどもの育成・地域の振興、交流人口・関係人口拡大事業など、地域活性化に向けた取組に広く活用します。

名寄市

人口 25,573人(2023.4)
主な観光ポイント
ピヤシリスキー場、天文台

冬季スポーツ拠点化プロジェクト



クロスカントリースキー合宿



ガーリングジュニアキャンプ

冬季スポーツ拠点化とジュニア世代の育成強化

名寄市では、スポーツを通じて子どもたちの「生きる」を育む環境づくりを進めるとともに、スポーツによる市民の健康づくりや交流人口拡大・地域経済活性化を図り、スポーツによる幅広い地域振興を推進しています。

本プロジェクトは産官学連携組織のNスポーツコミュニケーションを中心として、世界的にも価値が高まっている天然雪などの自然環境や集約された冬季スポーツの施設環境の強みを生かして、合宿・大会誘致や子どもたちの体力・競技力向上を推進するとともに、冬季スポーツを通じて故郷への誇りと愛着を持てる人づくりに取り組んでいます。

■プロジェクト 冬季スポーツ拠点化プロジェクト

全道・全国規模の大会開催／ジュニア世代を対象としたトレーニング・教育プログラムの提供など

事業年度・事業費 令和2年度～



名寄市ピヤシリシャンツエ



■お問合せ先
名寄市スポーツ・合宿推進課
☎ 01654-2-2218
✉ ny-sport@city.nayoro.lg.jp

深川市

人口 18,859人(2023.4)
主な観光ポイント
道の駅ライスランドふかがわ

「スポーツ」がもたらす効果でコロナ禍 や人口減少に負けないまちづくり



ホクレン・ディスタンスチャレンジ深川大会



エフパシオのトレーニング室

■プロジェクト

「北のスポーツ都市ふかがわ」によるスポーツを核とした地域活性化プロジェクト

事業年度・事業費

令和4年度～令和6年度
15,000千円

▼スポーツを通じた4つの柱

★自ら行うスポーツ
市民参加型の「運動きっかけ教室」などの開催

★呼び込むスポーツ
イベントの開催や合宿招致促進

★携わるスポーツ
指導者養成講習会などの人材育成

★育てるスポーツ
スポーツを通じた次世代人材育成



■お問合せ先

深川市企画総務部企画財政課企画係
☎ 0164-26-2246
✉ kikaku@city.fukagawa.lg.jp

北広島市

人口 57,144人(2023.4)

主な観光ポイント

北海道ボールパークビレッジ、エルフィンロード、旧島松駅舎

ボールパーク構想と連携した 新たな価値の創造



エスコンフィールド北海道

北で広がる夢がある

北広島市では、2018年10月に北海道日本ハムファイターズのボールパーク建設地として決定され、2023年3月に開業を迎えました。

本市にとってボールパークと連携したまちづくりを、究極の地方創生と捉えており、ボールパーク構想と最大限連動させた人口減少対策、交流人口拡大対策に取り組むことで、地域の活力の創出を目指しています。

■プロジェクト

ボールパーク構想と連携した まちづくり

人口減少対策・交流人口拡大対策

事業年度・事業費

令和元年度～令和5年度

107,984千円



■お問合せ先

北広島市企画財政部企画課

☎ 011-372-3311

✉ kikaku@city.kitahiroshima.lg.jp

東川町

人口 8,477人(2023.4)

主な観光ポイント

旭岳温泉、天人峡温泉

アイヌ文化とアイヌの誇りを国内外に



東川町収蔵作品より



東川町収蔵作品より

アイヌに誇りを与えた少女「知里幸恵」

差別の中にも夢と希望を持ち続けた知里幸恵氏の姿は多くの人に感動を与え、2022年没後100年を迎えることから、金田一京助氏とアイヌの口承文化を後世に伝えることに青春をかけた一人のアイヌ少女知里幸恵氏の短い一生を描いた映画を通じて、アイヌ文化を広く国内外へ紹介していきます。

アイヌ文化とアイヌの誇りを広く国内外へPRするとともに、文字を持たないアイヌ文化の伝承と暮らしを映画化し、次代を担う子どもたちなどに知ってもらい、人々の動きを復活させ、地域活力向上に資するように取り組んでいきます。

■プロジェクト

アイヌ民族の文化と生活を題材とした映画「カムイのうた」製作事業

事業年度・事業費

令和2年度～令和6年度

250,000千円



東川賞受賞作品シリーズより



■お問合せ先

東川町東川スタイル課

☎ 0166-82-2111

✉ brand@town.higashikawa.lg.jp

東川町

人口 8,477人(2023.4)
主な観光ポイント
旭岳温泉、天人峡温泉

世界中の写真と出逢い、世界中の人々がふれあい、
世界中が笑顔に溢れる写真文化首都



写真甲子園



国際写真フェスティバル

写真文化首都の創造を目指して

1985年に「写真の町」を宣言し、写真文化を通じて潤いと活力のある町づくりに取り組み、写真文化と世界中の人々を繋ぐ「写真文化首都」の創造を目指しています。

現在、日本は過疎・過密の二極化が進行している中、写真文化の首都として地方から世界へ写真文化を発信するために「写真甲子園」をはじめとした写真の町に関わる事業や写真文化のアーカイブスなどの取組を行い、写真文化首都を推進します。

■プロジェクト

写真文化首都「写真の町」プロジェクト

写真甲子園の開催／写真文化アーカイブス事業など

事業年度・事業費

令和2年度～令和6年度



写真の町宣言



■お問合せ先

東川町東川スタイル課

☎ 0166-82-2111

✉ brand@town.higashikawa.lg.jp

上富良野町

人口 9,999人(2023.4)
主な観光ポイント
土の博物館「土の館」

活火山の恵みと脅威を活力に

～「十勝岳」魅力再発見プロジェクト～

北海道を代表する秀峰であり、数多くの恵みと時に大きな災いをもたらす町のシンボル、十勝岳。上富良野町では、国内外から多くの観光客を呼び込む不動のコンテンツとして十勝連峰の魅力を最大限に活かしてまいります。

代表的な取組として、活火山である十勝岳がかつて上富良野に惨劇をもたらした噴火泥流災害にまつわる実話を基に、昭和文壇を代表する作家・三浦綾子が著した小説『泥流地帯』の実写映画化を目指しています。

大規模自然災害が頻発する昨今、96年前に「全滅」と言われながらも奇跡と称される復興を果たした上富良野開拓民の物語を、企業の皆様とともに全国のスクリーンにお届けできるよう、ご支援をお待ちしています。

※詳しくは当プロジェクトPRページをご覧ください。

<http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/index.php?id=2137>

■プロジェクト

三浦綾子『泥流地帯』映画化プロジェクト

二度にわたる噴火災害の実話を元にした映画の製作・全国のスクリーンへ届けるための支援

事業年度・事業費

平成29年度～
80,000千円



三浦綾子『泥流地帯』映画化プロジェクト



■お問合せ先

上富良野町企画商工観光課

☎ 0167-45-6983

✉ shouko@town.kamifurano.lg.jp

遠軽町

人口 18,477人(2023.4)
主な観光ポイント
瞰望岩、太陽の丘えんがる公園

10トンディーゼル機関車に再び汽笛を



10トンディーゼル機関車搬入



森林鉄道蒸気機関車雨宮21号

全国に類を見ない「森林鉄道の聖地」に向けて

国内で唯一動態保存されている森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」は「木のまち」遠軽町の象徴として、住民運動によりスクラップを免れた貴重な産業遺産です。

町ではこの「雨宮21号」を中心に全国に類を見ない「森林鉄道の聖地」を目指しており、このたび新たに、昭和31年製造の10トンディーゼル機関車を復元する口マンあふれるプロジェクトを実施しています。

■「10トンディーゼル機関車」 製造年：昭和31年／製造会社：協三工業（福島県福島市）

昭和31～昭和35年 北海道濁川森林鉄道（滝上町）
昭和36～昭和40年 長野県王滝森林鉄道（長野県上松町）
昭和51～平成30年 愛知県瀬戸市自然休養林
(動態保存)
平成30年10月～ 遠軽町丸瀬布森林公園いこいの森入線

■プロジェクト

口マンあふれる「森林鉄道の聖地」10トンディーゼル機関車動態復元等整備プロジェクト

10トンディーゼル機関車の復元

事業年度・事業費

未定

2,100千円



雨宮21号が走行するいこいの森キャンプ場



■お問合せ先

遠軽町総務部企画課

☎ 0158-42-4818

✉ kikaku@engaru.jp

浦河町

人口 11,564人(2023.4)
主な観光ポイント
優駿さくらロード

浦河町出身 田中光敏監督による 映画製作の実現



浦河町出身 田中光敏監督



1950年代の砂漠化したえりも岬

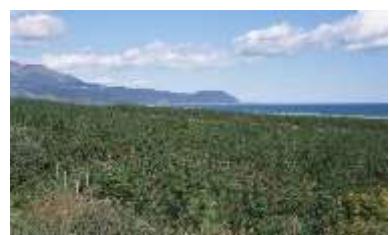
■プロジェクト

「北の流氷(仮題)」映画製作
応援プロジェクト

事業年度・事業費

令和2年度～令和5年度

350,000千円



蘇った森と海



先人が残した日本人のあるべき姿を未来へ

浦河町では、様似町、えりも町及び広尾町と連携して浦河町出身の田中光敏監督によるえりも岬の緑化事業を題材とした映画化の実現に向けて取り進めております。

これは、1950年代に森林伐採で砂漠化した荒れ地に地元漁師らが木を植え続け、豊かな森と海をよみがえらせた史実です。

日本の先人が残した自分たちの魂、日本人のあるべき姿を未来へ伝え残すため、映画製作の実現に向けて皆様のご協力をお願いします。

■お問合せ先

浦河町商工観光課

☎ 0146-26-9014

✉ kanko@town.urakawa.hokkaido.jp

様似町

人口 3,949人(2023.4)
主な観光ポイント
アポイ岳、親小岩、エンルム岬

映画「北の流水」(仮題)制作の実現に向けて



えりも（現在）



えりも（当時）

映画化に向けてぜひ応援してください！

様似町・浦河町・えりも町・広尾町の四町では、各町が協力して、浦河町出身の田中光敏監督による、えりも町の緑化事業を題材とした映画製作の実現に向けて取り進めています。

実話に基づくこの映画をより多くの方に見ていただき、日本の先人が残した自分たちの魂、日本人のあるべき姿を未来へ伝え残したいという思いで事業を進めています。

事業年度・事業費
令和2年度～



周辺マップ



■お問合せ先
様似町企画調整課
☎ 0146-36-2122
✉ kikakutouseika@saman-i.jp

鶴居村

人口 2,467人(2023.4)
主な観光ポイント
つるいむら湿原温泉ホテル、どさんこ牧場、
鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ、

音楽祭による新たな地域文化の創出に向けて



村内在住の指揮者「石川征太郎」氏



スポーツ・健康増進施設 ファミスポ・アップ

むらの子ども達に音楽を

鶴居村の文化・芸術活動を推進することを目的に、鶴居村村民スポーツ・健康推進施設（体育館）をはじめ、豊かな自然環境を活かした音楽祭を実施します。

単なる演奏会を開催するだけでなく、村内小中学校で子ども達にプロの演奏家による演奏を届ける他、少人数で活動に制限のある鶴居中学校吹奏楽部との共同演奏実施の計画等を図ります。

この音楽祭の実施に当たっては、村内在住の指揮者「石川 征太郎」氏に監修をしてもらいます。

■プロジェクト
音楽祭プロジェクト

演奏会を開催するだけではなく、週末を通して音楽を楽しむことができる取り組みを行う。

事業年度・事業費
令和5年度～
3,000千円 (R5)



鶴居村の語源でもある特別天然記念物「タンチョウ」(鶴)



■お問合せ先
鶴居村企画財政課
☎ 0154-64-2112
✉ tsurumurazukuri@vill.tsurui.lg.jp

白糠町

人口 7,234人(2023.4)
主な観光ポイント
道の駅「しらぬか恋問」、岬の森東山公園

「ウレシバ・シラリカ」ロケソーリズム 推進プロジェクト



白糠アイヌ協会天内会長とプロジェクト



「カムイノミ」の様子

アイヌ民族をテーマにした映画制作

先住者であるアイヌの人々によって白糠町の礎が築かれた歴史的な経過・背景を踏まえ、まち全体がイオル（伝統的生活空間）であるという認識のもと、ウレシバ（互いに育む）の意識でまちづくりを進めてきました。

国内外においてアイヌ文化の復興・創造に向けた機運が高まっている中、本町を拠点にアイヌ民族をテーマにした映画制作が決定したことから、全町を挙げて支援・協力を行うとともに、作品や撮影終了後のセットなどを新たな観光資源として広く発信し、持続的な交流人口・関係人口の創出・拡大と地域の活性化を図ります。

■プロジェクト 「ウレシバ・シラリカ」ロケ ソーリズム推進プロジェクト

アイヌ民族をテーマにした映画制作に対する支援・協力及び新たな観光資源としての活用

事業年度・事業費

令和2年度～令和6年度

500,000千円

映画



■お問い合わせ先

白糠町企画総務部企画財政課

☎ 01547-2-2171

✉ kikakuchosei@town.shiranuka.lg.jp

室蘭市

人口 77,289人(2023.4)
主な観光ポイント
地球岬、室蘭水族館、白鳥大橋

子育て世代が希望をもって 住み続けられるまちづくり事業



地球岬



工場夜景

子育て支援策で子育て世代の定着を図ります

子育て支援策をとおして、子育て世代の定着を図るとともに、子育て前の世代に対する結婚や子育て等の希望を叶える取組を進めることで若者の定着を図ります。

また、市有地などを活用した定住環境整備により、長期的な視点で継続して出生率向上に取組むとともに、安心して子育てできる環境づくりを進めます。

■プロジェクト

子育て世代が希望をもって住み続けられるまちづくり事業

出会いの場サポート事業／結婚・出産新生活応援事業／待機児童対策 など

事業年度・事業費

令和2年度～令和6年度



Muroran

安らぎが起き、みんなで育る、住み続けたいまち



■お問合せ先

室蘭市総務部総務課

☎ 0143-25-2215

✉ soumu@city.muroran.lg.jp

釧路市

人口 159,014人(2023.4)

主な観光ポイント
釧路湿原、和商市場、阿寒湖

安心して子どもを生み育てられる環境づくり



園内で遊ぶ子どもたち（阿寒幼稚園）



乳幼児対象の遊び場（ちびっこマンデー）

子育て世帯が働きやすい環境を整備

釧路市では、共働き世帯の増加や勤労意欲を持つ母親が増加している状況であり、定期的に利用可能な教育・保育施設などの受け皿確保が必要です。

少子化やそれに伴う子どもを取り巻く家庭・社会環境の変化の中で、子どもの成長にしっかりと向き合いながら、質の高い教育・保育や子育て支援の安定的な提供に向け、保育所等の整備や、乳幼児対象の遊び場の充実など、子ども・子育て支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。

■プロジェクト

子育て環境整備・支援事業

保育環境の整備、子育て環境の充実 など

事業年度・事業費

令和2年度～



特別天然記念物のタンチョウ



■お問合せ先

釧路市総合政策部都市経営課

☎ 0154-31-4502

✉ to-kikaku@city.kushiro.lg.jp

芦別市

人口 11,790人(2023.4)
主な観光ポイント
道の駅「スター・プラザ芦別」

子ども一人ひとりのニーズに合わせた 特別支援



特別支援学級での指導



特別支援学級での指導

児童生徒に対し、きめ細やかな支援を

芦別市では、通常の学級における困り感やつまずき感のある児童生徒に対し、きめ細やかな支援を行うため、全ての小中学校に学習支援員を配置しているほか、特別支援学級の児童生徒の学習や生活の補助をするため特別支援学級補助員を配置しています。

また、教育をはじめ、児童生徒に関わる関係者を対象として、特別支援教育の研修会を開催するなど、知識や専門性を高める取組を行っています。

事業年度・事業費

令和5年度～

38,740千円



通常学級との交流



お問合せ先

芦別市企画政策課まちづくり推進係

☎ 0124-27-7061

✉ kikaku@city.ashibetsu.hokkaido.jp

土別市

人口 17,676人(2022.1)
主な観光ポイント
羊と雲の丘、世界のめん羊館

めん羊振興事業



土別サフォーク



合宿の聖地創造

未のまちと つぎの未らいへ

■プロジェクト 総合戦略重点プロジェクト

コンパクトタウン関連事業/持続可能な足腰の強い農業農村事業/
合宿の聖地関連事業 など

事業年度・事業費

令和2年度～令和7年度



農業未来都市創造



まちの未らい創造



土別市では「第2期土別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で3つの重点プロジェクトを掲げ、コンパクトタウンの推進や“羊のまち土別”ブランドの確立、スマート農業の推進やサフォーク羊の供給体制の充実、スポーツ合宿の招致や生涯スポーツの推進など、各種事業を実施しています。

お問合せ先

土別市総務部創生戦略課

☎ 0165-26-7813

✉ soseisenryakuka@city.shibetsu.lg.jp

歌志内市

人口 2,739人(2023.4)

主な観光ポイント

うたしないチロルの湯温泉、かもい岳国際スキー場、かもい岳山頂からの雲海

子どもを産み、育てやすい環境をつくる



認定こども園



歌志内学園

オンリーワンの子育て・教育の実現

本市は、「子育て」「教育」を総合的に支援する環境づくりを推進し、0~14歳児の一貫した子育て、教育施設の集約化、子育て応援環境整備など、様々な支援を推進しています。

教育環境の一層の充実を図り、オンリーワンの子育て環境の形成を目指した取組に共感していただき、以下の取組と一緒に推進していただける企業を募集しています。

【具体的な事業】

- ・児童館等一元化施設の建設（R6年度建設予定）
- ・認定こども園の保育料と給食費の無料化

■プロジェクト

子育て教育施設の集約化、経済的な子育て支援の充実

0~14歳児までの一貫した子育て・教育を推進し、児童館等一元化施設の建設や、保育料・給食費の無料化に活用

事業年度・事業費

令和5年度

62,620千円



児童館一元化施設周辺のイメージ図



■お問い合わせ先

歌志内市企画財政課

☎ 0125-42-3214

✉ kikaku_koh@city.utashinai.hokkaido.jp

伊達市

人口 32,118人(2023.4)

主な観光ポイント

北黄金貝塚、北湯沢温泉郷

「こころ」も「からだ」も健康に暮らせるまち



北黄金貝塚



三階滝

■プロジェクト

総合戦略に基づく事業

健康産業を創造する事業/定住促進のための環境を整備する事業/生涯現役社会を実現する事業 など

事業年度・事業費

令和2年度～令和6年度



健康に暮らすなら伊達市



■お問い合わせ先

伊達市企画財政課

☎ 0142-82-3114

✉ kikaku@city.date.hokkaido.jp

健康産業の創造

定住促進のための環境整備

生涯現役社会の実現

木古内町

人口 3671人(2023.4)

主な観光ポイント

道の駅みそぎの郷きこない、新幹線ピュースポット、サラキ岬

木古内町みらいある事業



移住体験住宅外観



給食費無償化事業

木古内町みらいある事業

木古内町は、北海道で最初に新幹線が停まる町であり、渡島半島の交通資源を活かし、交流・関係人口の獲得に向けた取組を進めています。

移住・定住を促すため、新築や物件購入に係る費用の助成やリフォームに対する助成や、移住希望者を対象に生活を体験する機会の創出し交流・関係人口の獲得を強化しています。

また、妊産婦への支援から出生お祝い、入学お祝い事業、18歳まで医療費の無償化といった切れ目のない子育て支援を展開しています。

■プロジェクト

木古内町みらいある事業

出生お祝い事業/入学お祝い事業/
マイホーム取得促進事業 など

事業年度・事業費

令和5年度

15,700千円



出生お祝い事業



■お問合せ先

木古内町まちづくり未来課

☎ 01392-2-3131

✉ info@town.kikonai.hokkaido.jp

七飯町

人口 27,820人(2023.4)

主な観光ポイント

大沼国定公園、道の駅なないろ・ななえ

子どもたちの笑顔をたくさん見たい！



■プロジェクト

「おいしい、うれしい、 楽しい給食」プロジェクト

子育て支援/地産地消/食育 など

事業年度・事業費

令和元年度～

10,000千円



■お問合せ先

七飯町政策推進課

☎ 0138-65-5792

✉ 121-seisaku-c@town.nanae.lg.jp

『おいしい給食』の甘利田先生もビックリ！

七飯町では、地元産の農作物や加工品などの食材をふんだんに使った給食「プレミアムななえデー」を月に2回実施しています。これは児童・生徒全員が、給食マニアの教師の甘利田先生が登場するドラマ・映画『おいしい給食』のようなワクワクする給食を楽しみ、笑顔あふれる学校生活を送れるようにするための事業です。 おいしい給食を食べる『子どもたちの笑顔こそが地域の何よりの財産』と考えています。 また、地元産の食材を使った給食を継続していくことは、地産地消の推進や地元経済への貢献、児童・生徒への食育効果や郷土愛を深めることにもつながります。

森町

人口 14,017人(2023.4)
主な観光ポイント
駒ヶ岳、さくら、鶯ノ木遺跡

子育てしやすい環境を目指して



漁業体験授業を受ける児童



札幌市で開催した森町PRイベントの様子

入学・卒業祝金を支給

森町は、駒ヶ岳をシンボルに持ち、裾野には資源豊かな噴火湾の広がる自然に富んだ町です。自然の豊かさを感じながら生活できるまちづくりを進めています。

施策のひとつとして、小中学校入学及び中学校を卒業する児童又は生徒の養育者に入学・卒業祝金を支給することにより、その入学及び卒業を祝福し、子育て世代への経済的負担の軽減を図ります。森町の近隣に住む人が、結婚、妊娠、出産、子育てに対し前向きに考えられるような環境づくりを目指しています。

事業年度・事業費

令和3年度～

33,300千円



駒ヶ岳と噴火湾に囲まれた森町市街地



お問合せ先

森町役場企画振興課

☎ 01374-7-1283

✉ kikaku@town.hokkaido-mori.lg.jp

俱知安町

人口 14,970人(2023.4)
主な観光ポイント
羊蹄山、ニセコアンヌプリ

くっちゃんと暮らす幸せを感じるための事業



お楽しみ会（町立保育所ぬくぬく）



雪ん子の集い（認定こども園）

プロジェクト

くっちゃんと先生になろう！
～保育士・保育教諭等確保事業～

保育士・保育教諭への一時金給付/奨学金返還支援/PR・募集パンフレット作成など

事業年度・事業費

令和3年度～令和6年度



国際リゾート「ニセコヒラウチ」



お問合せ先

俱知安町総合政策課総合政策係

☎ 0136-56-8001

✉ sousei@town.kutchan.lg.jp

待機児童ゼロと日曜・祝日保育等の実施に向けて

国際リゾートニセコエリアの中心地である俱知安町は、観光業等のサービス業に携わる若い世代が多く、子どもを産みたい、育てたいと思える環境づくりを進めています。

待機児童ゼロ、一時預かりや延長保育、日曜・祝日保育実施のため、町立保育所と3つの私立認定こども園が連携し、保育士・保育教諭への一時金給付、奨学金返還支援、くっちゃんの魅力・特徴を活かしたPR事業などに取り組み、保育士・保育教諭確保を目指します。

仁木町

人口 3,022人(2023.4)
主な観光ポイント
観光果樹園

■プロジェクト 多目的拠点施設整備事業

「NIKI交流プラザ（仮称）」の建設・運営

「NIKI交流プラザ（仮称）」の整備



子育て支援拠点施設イメージ図



特産品のさくらんぼ

子育て世帯を中心に活用しやすい施設を整備

より効果的に地方創生を推進していくため、令和5年度供用開始予定である「子育て支援拠点施設」に隣接する形で新たに「多目的拠点施設（NIKI交流プラザ（仮称））」の整備を予定しています。

子育て世帯が安心して仕事ができるよう、テレワークに特化したコワーキングスペースの導入をはじめ、気軽に立ち寄れるカフェ、商工団体や金融機関などの経済拠点を一箇所に複合することで、幅広い世代の地域住民が集う交流の場となり、リビングシフトに対応したさまざまな働き方を提供する施設を目指しています。

事業年度・事業費

未定



「農村公園フルーツパークにき」
から見た仁木町の風景



■お問合せ先
仁木町企画課未来創生係

☎ 0135-32-3953

✉ kikaku02-niki@town.niki.hokkaido.jp

妹背牛町

人口 2,674人(2023.4)
主な観光ポイント
遊水公園、妹背牛温泉ペベル、カーリングホール

■プロジェクト 親子の希望を叶え、笑顔あふれる プロジェクト

子育て世代交流施設の裏庭整備・
遊具設置 など

子育て世代が魅力を感じるまちづくり事業



From☆Mokoで遊ぶ親子



遊び疲れてお昼寝

事業年度・事業費

令和5年度
1,961千円



新しい砂場で遊ぶ子供たち



■お問合せ先
妹背牛町企画振興課

☎ 0164-34-8581

✉ shinkog@town.moseushi.lg.jp

親子の交流拠点の充実に向けて

妹背牛町は過疎化・少子高齢化が急速に進み空き家問題や少数である若者の声が行政に届きにくいことが課題となっています。

この問題を同時解決に向け、子育て世代の要望である「いつでも集まることができ、子どもが遊べる施設がほしい」という声に応えるため、町で空き家を購入し、子育て世代の様々な要望を取り入れ空き家を改修しました。

そのほか、子育て世代交流施設「from☆Moko」を開設し、今年度は、裏庭整備の要望に応え、子育て世代の希望を叶える、魅力あるまちづくりを進めていきます。

増毛町

人口 3,731人(2023.4)
主な観光ポイント
旧商家丸一本間家

「高血圧ゼロ」で元気に長生きできるまち



高血圧ゼロのまちを目指します！



イベントでの血圧相談

高血圧を予防し健康寿命を延伸

増毛町が実施する「高血圧ゼロのまちプロジェクト」は、日本高血圧学会が実施する高血圧ゼロのまちモデルタウン事業の第1号として認定されています。

貸出用の血圧計の整備や運動施設の維持管理など、血圧対策を多くの町民に拡充し、健診、血圧測定、運動、減塩を習慣化させることで健康寿命を延ばし、生涯現役（高齢者の収入増加と就労促進）と社会保障の安定（医療費、介護費の適正化）を目指します。

事業年度・事業費

令和2年度～令和6年度
各年度20,000千円



子ども達への減塩教室



お問合せ先

増毛町福祉厚生課保健指導係

☎ 0164-53-3111

✉ fukusi@town.mashike.hokkaido.jp

初山別村

人口 1,080人(2023.4)
主な観光ポイント
みさき台公園

住民との協働によるデマンド型車両運行の推進



車両（しょさまる号）



初山別診療所

地域公共交通対策事業

初山別村では、交通空白地帯を解消する持続可能な新しい地域公共交通の構築を目的として、令和3年4月から自家用車を持たない高齢者を対象に、デマンド型車両を運行しています。

利用者の主な利用目的は買い物や通院で、年間延べ625人の方が利用されています（R4.4.1～R5.3.31）。

本村の取組を応援していただける企業の皆様からのご連絡をお待ちしております。

■プロジェクト

定住・移住促進、生活環境プロジェクト

交通弱者対策「地域公共交通対策事業」

事業年度・事業費

令和5年度

8,588千円



みさき台公園



お問合せ先

初山別村役場企画振興室

☎ 0164-67-2211

✉ soumu.kikaku@vill.shosanbetsu.lg.jp

中頓別町

人口 1,553人(2023.4)
主な観光ポイント
鍾乳洞、敏音知岳

新たな交通手段により誰もが安心して暮らせる町へ



しばざくら



ピンネシリ岳

デマンドバスとスクールバスで利用しやすく

中頓別町では、路線バスが一日に3.5往復運行していますが、人口減少による利用者数の減少等に伴う財政的負担が年々増加しています。しかしながら、通勤通学はもとより買い物や通院の交通手段であるバスは、町民が生活していく上で欠かすことができません。

こうしたことから、本町では、従来の路線バスに代わり、予約制であるデマンドバス及びスクールバスを運行することにより、町民のニーズに応じた弾力的な運用を行い、利用しやすい交通手段を維持し、誰もが暮らしやすいまちを目指します。

事業年度・事業費

令和4年度～

運行経費：各年度32,000千円
車両及び車庫整備：66,000千円



デマンドバス



お問合せ先

中頓別町総務課政策経営室

☎ 01634-8-7671

✉ kikaku@town.nakatombetsu.lg.jp

壮瞥町

人口 2,351人(2023.4)
主な観光ポイント
昭和新山、洞爺湖、壮瞥公園

選ばれるまちを目指して



昭和新山



壮瞥公園から望む洞爺湖

子育て環境の整備及び地域産業の担い手確保

壮瞥町では、第2期総合戦略の基本目標の一つに「人材育成と子育て支援の強化」を掲げています。

選ばれるまちを目指し、子育て世代への切れ目ない支援の充実、良質な住環境の供給による移住・定住促進、「生きる力」を育む特色ある教育の実践、町立高校（地域農業科）の教育環境整備、就農支援対策の充実、地域産業を担う人材の育成・確保など、さまざまな施策を推進しています。

■プロジェクト 子育て支援・担い手確保事業

安心して子どもを産み育てられる
環境の整備/起業・産業従事しや
すい環境の整備 など

事業年度・事業費

令和3年度～令和6年度



お問合せ先

壮瞥町企画財政課

☎ 0142-66-2123

✉ kikaku@town.sobetsu.lg.jp

土幌町

人口 5,864人(2023.4)
主な観光ポイント
道の駅ピア21しほろ、道の駅しほろ温泉、ヌプカの里

結婚・出産・子育て への支援を充実させる事業



給食風景



元気に運動会の様子

土幌でこどもを育てたい・教育したいを応援

本町で結婚し生活を送ることを希望する人達が増えるよう、結婚につながる出会いの場を充実させます。

また、子供を産みたい人、多くの子どもを産み育てたい人など、それぞれの希望が叶うよう支援します。

さらに、子育て支援や教育に関する環境づくりとともに、子育てにかかる負担の軽減に引き続き努めることで、本町で子どもを育てる魅力を高め、子育て世帯の定住促進と町外からの移住を促します。

■プロジェクト 認定こども園整備改築事業

未来を担う子どもたちが伸び伸びと健やかに過ごすことができる園の整備

事業年度・事業費

令和5年度～令和7年度



認定こども園「なかよし」



■お問合せ先
土幌町地域戦略課

☎ 01564-5-5212

✉ chousei@town.shihoro.lg.jp

清水町

人口 9,000人(2023.4)
主な観光ポイント
清水公園、十勝千年の森、日勝峠展望台

子どもを安心して産み・育てられるまち



しみず認定こども園の様子



御影小学校運動会でよさこいを披露

■プロジェクト まちぐるみで子育て応援プロジェクト

不妊・不育治療支援/出産祝い金/
第2子以降保育料無料化/18歳までの医療費無料化 など

事業年度・事業費

令和2年度～



日勝峠から望む清水町



■お問合せ先

清水町企画課

☎ 0156-62-2114

✉ kikaku@town.shimizu.hokkaido.jp

まちぐるみで子育てを応援

清水町では、人口減少の加速に対応するため、まちぐるみで子育て世帯を支え、応援するまちづくりを推進しています。妊娠から出産、子育てなどライフステージに合わせた切れ目のない支援により、子育て家庭を応援しています。未来を担う子どもたちの健やかな成長のために家庭、学校、地域そして企業が連携をしながら、社会全体で子どもを支える環境づくりを進めています。

三笠市

人口 7,626人(2023.4)
主な観光ポイント
三笠市立博物館、三笠鉄道記念館、道の駅三笠

未利用エネルギー活用事業



室蘭工大との教育連携（実験見学会）



CO₂地下固定化実験の現場

陸域CCSによるCO₂排出量実質ゼロの水素エネルギー製造

未利用で豊富な地域資源を活用した、CO₂排出量実質ゼロの水素エネルギー製造の研究を進めています。令和4年度には、NEDO調査業務を行い、水素製造の高いポテンシャルを持つことを確認しました。また、ヤフー株式会社の企業版ふるさと納税などを活用して、地下深部の石炭採掘跡へのCO₂固定化実験を行い、陸域CCSが実現可能であることを検証しました。この成果を基に、産学官で連携し、豊富な水素エネルギーおよび国内初の陸域CCS技術を活用したビジネス化を図ることで、2050年カーボンニュートラルに寄与する三笠市版ゼロカーボンシティを実現します。

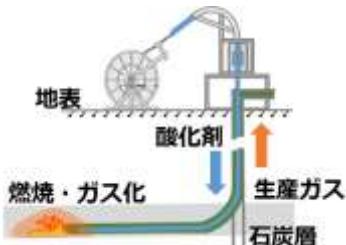
■プロジェクト

三笠市地方創生プロジェクト
未利用エネルギー活用事業／高校生「食」のコンクール実施事業／三笠ジオパーク推進事業

事業年度・事業費

令和5年度～

55,800千円



石炭地下ガス化の概念図



お問い合わせ先

三笠市産業政策推進部産業開発課

☎ 01267-3-7090

✉ sangyok@city.mikasa.lg.jp

八雲町

人口 14,913人(2023.4)
主な観光ポイント
噴火湾パノラマパーク

北海道初のトラウトサーモン海面養殖事業で地域活性化を図る！



八雲町長と落部漁協青年部



北海道二海サーモン水揚げ

産業活性化と雇用創出に向けて

するめいか、すけとうだら、さけ漁の不漁が続き、漁獲量・漁獲金額ともに大幅な減少となるなか、新たな水産資源の開発及び持続的かつ安定的な漁業経営に資する取り組みが必要です。

こうした背景のもと八雲町は、寿司種や刺身などで人気の高いサーモンに着目し、北海道初となるトラウトサーモンの海面養殖に挑戦するとともに、種苗生産にも着手し、八雲町の基幹産業の1つである漁業の活性化および雇用創出を目指します！

■プロジェクト

サーモン試験養殖事業

北海道初となるトラウトサーモンの海面養殖

事業年度・事業費

令和2年度～

1,880,000千円



令和4年7月15日付けで特許庁から商標原簿に登録された旨が通知された



お問い合わせ先

八雲町政策推進課

☎ 0137-62-2300

✉ seisaku@town.yakumo.lg.jp

共和町

人口 5,458人(2023.4)
主な観光ポイント
神仙沼、西村計雄記念美術館

「らいでん」ブランドを守る 農業の担い手確保と育成



農産特産品



一本の樹と初夏の田園風景

農業後継者育成・支援事業

共和町では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に4つの基本目標を掲げています。基幹産業である農業では、担い手や新規就農者の確保のため、農業技術習得のための資格取得や研修参加費用などを支援しています。

スイカ・メロンに代表される「らいでん」ブランドの維持のため、寄附を通じて支援くださる企業をお待ちしています。

事業年度・事業費

令和5年度

3,433千円



こめ



お問合せ先

共和町企画振興課

☎ 0135-67-8796

✉ kikaku@town.hokkaido-kyowa.lg.jp

岩内町

人口 11,222人(2023.4)
主な観光ポイント
オートキャンプ場マリンビュー

地場産業の活性化に向けた海洋深層水の新たな挑戦



トラウトサーモン



稚ナマコ

岩内町海洋深層水を活用した トラウトサーモン・稚ナマコの養殖

岩内町の主要産業である漁業の安定化を図ることを目的として、町では、海洋深層水を活用した、トラウトサーモン・稚ナマコの養殖・蓄養試験を実施します。

本試験を通じ、付加価値の高い新たな水産資源開発の可能性を検討します。

■プロジェクト

新たな増養殖企業化検討実証試験事業

ナマコ種苗生産技術の習得、生産試験/稚ナマコの育成試験、生育検証試験/サーモン養殖基礎調査/サーモンの養殖・蓄養試験/鮮魚高鮮度保持技術の検討

事業年度・事業費

令和3年度～令和5年度

32,301千円



岩内町地場産業サポートセンター



お問合せ先

岩内町経営企画部企画財政課

☎ 0135-62-1011

✉ kikaku@town.iwanai.lg.jp

余市町

人口 17,374人(2023.4)
主な観光ポイント
余市宇宙記念館

食の都よいちフルコースプロジェクト



余市町産のフルコース



広大なヴィンヤードとワイン用ぶどう

「食の都」としての地位の確立

余市町には食に関する資源がとても豊富です。前菜からデザート、そしてワイン等のお酒。フルコース料理を作れるポテンシャルがあり「食の都」として存在感のある地域となれる可能性がある町です。

しかしながら、現状そのポテンシャルを十分に活かしきれていませんでした。

そこで、この「食の都よいちフルコースプロジェクト」により食の可能性を引き出すことで、「食の都」としてのブランディング・地位を確立し、生産者やサービス事業者等の所得の向上、インバウンドを含む来訪者の増加を目指し、活力のある地域を目指します。

■プロジェクト

総合戦略に基づく事業

水産資源の増殖補助/農産物の苗木補助/新商品開発の補助/地域資源活用人材の育成事業/トップセールス事業/展示会やイベントへの出品の補助/パンフレット、ポスターの作成/外部人材の活用/商店街の売り上げ向上に資する補助など

事業年度・事業費

令和3年度～令和5年度

100,500千円



オール余市の豊富な食資源



■お問合せ先

余市町総務部企画政策課

☎ 0135-21-2117

✉ kikaku-s@town.yoichi.hokkaido.jp

赤井川村

人口 1,143人(2023.4)
主な観光ポイント
キロロリゾート、山中牧場

新規就農者育成プロジェクト



パラグライダーに乗って



研修風景

■プロジェクト

新規就農者の育成、営農実習支援金の拡充／遊休農地保全事業

営農実習支援金の拡充/ 遊休農地保全事業

事業年度・事業費

令和3年度～令和6年度

5,500千円



■お問合せ先

赤井川村総務課企画地域振興係

☎ 0135-34-6211

✉ soumuka@akigawa.com

農業の担い手育成から持続的な村づくりを！

赤井川村は、四方を山々に囲まれた国内でも珍しい「カルデラの里」で、日本で最も美しい村連合に加盟する人口1200人ほどの小さな農村です。

120年前の開拓の頃より農業の営みが続いておりましたが、農家世帯はゆるやかに減少しています。地域農業の衰退は、農村風景や地域経済はもとより、地域の様々な暮らしの支え合いにも大きな影響を及ぼしていきます。

村では新規就農受入の取組を平成7年度から進めてきておりますが、令和3年度からは受入体制を拡充して、地域の担い手育成に取り組んでいきます。

秩父別町

人口 2,277人(2023.4)
主な観光ポイント
ローズガーデン、ベルパークちっぷべつ、
屋内遊戯場ちっくる

ゼロカーボンシティの実現に向けて



田園風景が広がる秩父別町市街地



地域マイクログリッド構築事業イメージ

地域マイクログリッド構築事業

秩父別町は令和3年12月にゼロカーボンシティ宣言を行い、地球温暖化の課題に対し、再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギーの強化などの取組みを進め、持続可能なまちづくりを推進しています。令和4年度から6年度には、指定避難所を含む複数の公共施設が密集している秩父別温泉周辺で、太陽光発電と蓄電池を組み合わせた地域マイクログリッドを構築します。これにより、平時には再生可能エネルギーの地産地消によるゼロカーボンの推進を図り、大規模停電時には指定避難所などへの電力供給を可能とすることで地域のレジリエンス強化を図ります。

■プロジェクト

秩父別町まち・ひと・しごと創生推進事業

将来にわたり安心して暮らせるまちづくり

事業年度・事業費

令和3年度～令和6年度



秩父別温泉ちっぷゆう & ゆ



■お問合せ先

秩父別町企画課

☎ 0164-33-2111

✉ kikakuka@chippubetsu.jp

北竜町

人口 1,663人(2023.4)

主な観光ポイント

ひまわりの里、サンフラワーパーク北竜温泉、金比羅公園

ひまわりを活用した魅力あるまちづくり



ひまわり油



ひまわり刈り取り作業

■プロジェクト

ひまわり油再生プロジェクト

ひまわりを活用した新商品開発と販路拡大/ひまわり油を原料とした食品や化粧品開発/飲料店等でのメニュー開発

事業年度・事業費

令和3年度～令和6年度

86,667千円



ひまわりを活かした6次産業化の推進

北竜町では、町特産である「ひまわり油」の利活用促進に向けて、民間企業における豊富な知見や高い技術を活用し、農業や観光業などを中心とした地域経済の活性化や交流人口拡大の取組を行っています。

ひまわり油の知名度向上や新商品開発などに応援いただける企業の皆様からの連絡をお待ちしています。

■お問合せ先

北竜町ひまわりプロジェクト推進室

☎ 0164-34-2111

✉ info@town.hokuryu.hokkaido.jp

愛別町

人口 2,519人(2023.4)
主な観光ポイント
総合スポーツ公園

人と文化が輝く愛別



産業の活性化



誰もが住みたくなるまちづくり

将来を担う人材の育成

愛別町は、北海道のほぼ中央に位置する上川盆地の東北端、北海道の屋根と呼ばれる雄大な大雪山連峰の麓にあります。

若い世代の結婚・妊娠・出産子育ての希望をかなえ、町の宝である子どもが一人でも多く生まれ、将来を担う人材として育つよう、子育て支援対戦の充実や子どもの教育体制の充実をリードする施策を推進します。

事業年度・事業費

令和3年度～令和7年度



子育て環境の充実



お問合せ先

愛別町総務企画課

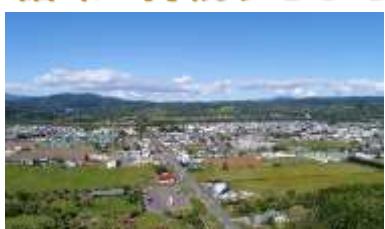
☎ 01658-6-5111

✉ satou.k@town.aibetsu.lg.jp

下川町

人口 2,968人(2023.4)
主な観光ポイント
万里長城、五味温泉

SDGsを取り入れ、人も資源もお金も循環・持続するまちを目指して



下川町の市街地



下川町の森林

■プロジェクト

下川版SDGsによる地域創造事業

地域振興事業/林業・林産業振興事業/農業振興事業/快適住まいづくり促進事業など

事業年度・事業費

令和5年度～令和6年度

175,980千円



植樹祭の様子



お問合せ先

下川町政策推進課SDGs推進戦略室

☎ 01655-4-2511

✉ seisaku@town.shimokawa.hokkaido.jp

「持続可能な森林経営」のために

下川町は、町面積の約9割が森林で覆われ、約4,700haの町有林を有しています。年間約50haの伐採と植林、適正な森林管理「伐ったら必ず植える」を60年サイクルで続ける「循環型森林経営」を理念に、伐採された木材は、地域内で様々な形に加工し、付加価値を高めて地域外に流通させ、原木の安定供給と雇用の確保を図っています。

循環型森林経営を基軸に、国から、環境モデル都市、環境未来都市、SDGs未来都市などの選定を受けながら、経済・社会・環境の三側面の調和による持続可能な地域社会の実現を目指しています。

湧別町

人口 8,034人(2023.4)
主な観光ポイント
かみゆうべつチューリップ公園

まちの人と農業を守り、未来へつなぐ



70万本のチューリップが咲き誇る
「かみゆうべつチューリップ公園」



牧草地で伸び伸びと散歩する乳牛

ゅうべつの農業を新たに担う方を応援

湧別町は、まちの中央を流れる湧別川により肥沃な恵ある大地が広がり、平野部では畑作が、山間や河口域では乳牛飼育による酪農が盛んです。1次産業の就業人口が33%を占める農業と漁業のまちで、飼育されている牛の頭数は、人口の3倍以上にもなります。

少子高齢化や社会構造の変化に伴い、町内では農業を志す方の減少による後継者不足が問題になっており、後継者対策は喫緊の課題です。その課題を解決し、まちの農業を未来へつなぎ、日本の食卓を守るために、湧別町では新規就農者に対する手厚い支援を行い、農業の振興と経営の安定化を図っています。

■プロジェクト

新規就農者の応援・早期経営安定化プロジェクト

農地・施設・設備・乳用牛等の取得・賃借費用の補助のほか、経営安定のための支援

事業年度・事業費

令和5年度～令和6年度
11,000千円



湧別町の様子



■お問合せ先

湧別町企画財政課

☎ 01586-2-5862

✉ kikaku@town.yubetsu.lg.jp

大空町

人口 6,703人(2023.4)
主な観光ポイント
ひがしもこと芝桜公園、メルヘンの丘、
網走湖女満別湖畔

ひがしもこと芝桜公園 リニューアルに向けた再整備事業



ひがしもこと芝桜公園



公園内の鳥居

干ばつに負けるな！！芝桜の活性化対策！！

ひがしもこと芝桜公園は、5月初めから5月末まで10haもの芝桜が咲き誇り、大空町の観光名所の一つとなっています。

近年、干ばつによる土壤の活力不足などにより公園の約3割の苗が枯れ、令和4年度は満開宣言ができませんでした。そのため、早急な対応が必要と考え、芝桜の活性化対策を進めます。また、今後の公園のあり方や方向性などについて基本構想を策定し、リニューアルに向けた再整備を進めます。本ふるさと納税は、芝桜の苗の購入やドローンによる液肥の散布、公園のリニューアルに向けた施設整備などに活用させていただきます。

■プロジェクト

ひがしもこと芝桜公園リニューアルプロジェクト

芝桜の苗の購入やドローンによる液肥の散布、公園のリニューアルに向けた施設整備の実施

事業年度・事業費

令和5年度～
50,000千円



干ばつなどにより枯れた苗



■お問合せ先

大空町総務課

☎ 0152-74-2111

✉ info@town.ozora.lg.jp

大樹町

人口 5,402人(2023.4)
主な観光ポイント
カムイコタン、坂下仙狹

大樹発！航空宇宙関連産業の集積による 地域創生の推進



北海道スペースポート(HOSPO)
将来イメージ



HOSPO全景図

北海道に「宇宙版シリコンバレー」を！

大樹町では、アジア初の民間に開かれた商業宇宙港「北海道スペースポート（HOSPO）」を本格稼働し、航空宇宙産業の実験や企業誘致を進めています。

人工衛星用ロケット射場（LC-1）やスペースプレーン（宇宙往還機）実験機が離着陸可能な滑走路の整備を進めるほか、大樹町を拠点とする航空宇宙関連事業者への支援事業などを展開し、十勝を中心に北海道に多くの航空宇宙関連企業が集積する「宇宙版シリコンバレー」の形成を目指します。

事業年度・事業費

令和2年度～令和6年度
2,320,000千円



人工衛星用ロケット射場



お問合せ先

大樹町企画商工課航空宇宙推進室
☎ 01558-6-2113
✉ uchu@town.taiki.hokkaido.jp

足寄町

人口 6,256人(2023.4)
主な観光ポイント
オンネトー、里見が丘公園、足寄動物化石博物館

地域の魅力向上と町民の健康増進、 子どもの健やかな成長に向けて



オンネトーと雌阿寒岳



里見が丘公園 野球場

観光と運動の拠点、里見が丘公園の魅力向上

里見が丘公園は、ふわふわドームや大型滑り台などの遊具のほか、バーベキューハウスや足湯などもあり、家族で一日遊べる観光スポットとなっています。

また、野球場や陸上競技場、パークゴルフ場など、スポーツで町民の健康増進を図る施設ともなっています。里見が丘公園を整備し、魅力向上を図ることで、観光客力向上と町民の健康増進を図ります。

プロジェクト

里見が丘公園再整備プロジェクト

遊具整備、運動場機能向上 など

事業年度・事業費

令和5年度～



里見が丘公園 すべり台



お問合せ先

足寄町総務課企画財政室
☎ 0156-28-3851
✉ kikaku@town.ashoro.hokkaido.jp

岩見沢市

人口 76,168人(2023.4)
主な観光ポイント
いわみざわ公園「バラ園」、ログホテル メープルロッジ、北村温泉

未来技術を活用した スマート・アグリシティの実現

スマート農業のさらなる発展

岩見沢市の基幹産業である「農業」では、持続性確保が課題であり、新規就農者の確保はもちろんのこと、作業効率性の向上等による付加価値額向上や市場ニーズを見据えた作付け・生育スケジュールの最適化も重要な要素となっています。

これらの課題解決に向けては、岩見沢市の地域特性であるICT環境に、5GやAI等の未来技術を用いて社会実装された農業作業機の有人走行支援機能を基に、遠隔監視下における無人走行に深化・高度化させ、スマート農業のさらなる展開を図り、営農者人口が減少しても耕作放棄地を出すことなく基幹産業として成長を続ける環境形成を進めています。

■プロジェクト

ICT活用型総合戦略推進事業

ビックデータ活用促進事業、産学官連携による課題解決検討など

事業年度・事業費

平成28年度～

15,000千円



ICT活用した総合的な事業展開



お問い合わせ先

岩見沢市企画財政部企画室

☎ 0126-35-4834

✉ kikaku@city.iwamizawa.lg.jp

猿払村

人口 2,622人(2023.4)
主な観光ポイント
さるふつ公園、カムイト沼

IoTを活用し猿払に最適な施設園芸を！



令和2年9月末に完成した施設



令和2年10月からスタートした野菜栽培

猿払村から新たな産業を創造

猿払村では、進学で村を離れた若者が戻らず、移住希望者にも魅力的な就労先の選択肢が少ない状況にあります。

将来的な企業誘致や新規就農者の受け入れ増を目的に「新産業創造プロジェクト」を立ち上げ、IoTを活用した施設園芸の猿払モデルの構築に向けたイチゴや葉物野菜の栽培実証事業や、その収穫物を活用して村民の健康増進につなげる「食と健康のプロジェクト」などに取り組んでいます。

■プロジェクト

新産業創造プロジェクト

イチゴや葉物野菜の栽培実証事業
／食と健康のプロジェクトなど

事業年度・事業費

令和2年度～令和5年度

85,000千円



旧小学校グラウンド跡地を利用



お問い合わせ先

猿払村総務課

☎ 01635-2-3131

✉ furusato@vill.sarufutsu.lg.jp

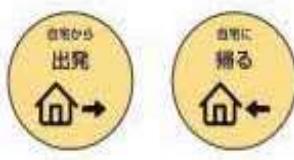
上士幌町

人口 4,821人(2023.4)
主な観光ポイント
ぬかびら源泉郷、タウシュベツ橋梁群

ICT先端技術を活用したスマートタウンの推進



タブレット配付



デマンド交通 高齢者用UIの開発画面

Society5.0を見据えたまちづくり

上士幌町では、高齢者向けオンデマンドバス予約アプリケーションの開発や既存の物流業者と移動サービスを掛け合わせた仕組みの検討など、ICTを活用したデジタル社会の推進により、地域住民の生活が持続的に向上することを目指しています。

また、町外からの利用者をターゲットに、企業や個人がワクスベースとして使用可能な「かみしほろシェアオフィス」も開設しています。

今後も、IoTやAIを活用したスマート農業・医療・介護・教育や、MaaSでの快適な移動等による生産性の向上を目指す事業、ICTを活用した域内での実証実験を進めています。

■プロジェクト スマートなまちづくり プロジェクト

上士幌型ヒト・モノMaaS導入／
情報配信用タブレット導入／自動運転バス導入 など

事業年度・事業費

令和4年度～

158,534千円



かみしほろシェアオフィス



■お問合せ先

上士幌町企画財政課ふるさと納税担当

☎ 01564-2-4290

✉ kikakuiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp

更別町

人口 3,155人(2023.4)
主な観光ポイント
農村公園大型遊具広場、すももの里、霧氷

更別村スーパービレッジ構想



スーパービレッジ構想



更別村空撮

100歳まで働けてしまう奇跡の農村

更別村は、農業が基幹産業の村で、十勝平野の南部に位置しています。公共交通機関は村民バスのみで、農村部の移動手段の確保が課題となっているため、自動運転レベル4の実装や無人ドローン配送、無人口ボット配送に取り組んでいます。畜産農家の長時間重労働や飼料の高騰に伴う経営悪化を防ぐため、自動農業対応作業機を開発したり、気象・農業ビッグデータから気象条件の変化に伴う生育予測を行う農業経営技術を構築しています。村民の生活を守るためにデジタルの力を駆使し、課題解決に努めています。

■プロジェクト 持続可能な農村エコシステム 構築事業

自動運転レベル4の実装／無人ドローン配送／無人口ボット配送等

事業年度・事業費

令和5年度～令和7年度

536,030千円



共助型地域交通物流システム



■お問合せ先

更別町企画政策課

☎ 0155-52-2114

✉ kikaku@sarabetsu.jp

札幌市

人口1,969,004人(2023.4)
主な観光ポイント
大通公園、札幌テレビ塔

さっぽろ圏域を支える「ひと」の育成



魅力いっぱいの札幌圏



子どもがSDGsを考える場の創出

『まちづくり』は『ひとづくり』

さっぽろ連携中枢都市圏では、「『まちづくり』は『ひとづくり』である」との考えのもと、圏域を支える人材を育成・確保し、持続可能な「まちづくり」につなげるため、若者の地元定着に向けた奨学金返還支援や多様な業種を体験できるインターチェンジの開催、子どもの文化芸術体験や環境問題を考える場の創出、周産期救急医療従事者スキル向上研修事業など、人材育成に関する幅広い取組を展開しています。

◆さっぽろ連携中枢都市圏

人口減少・少子高齢化社会にあっても圏域内の活力を維持し、魅力あるまちづくりを進めるために、札幌市と関係11市町村（小樽市・岩見沢市・江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・石狩市・当別町・新篠津村・南幌町・長沼町）で形成。

■プロジェクト

さっぽろ圏「ひとづくり」プロジェクト

地元就職者への奨学金返還支援／環境問題を考える場の創出／周産期救急医療従事者スキル向上研修 など

事業年度・事業費

令和2年度～



つながりが、新しい未来をつくる

さっぽろ連携中枢都市圏

• Sapporo • Otaru • Asahikawa • Ebetsu • Chitose
• Eniwa • Kitahiroshima • Ishikari
• Teshio • Shiretoko • Maruyama • Niseko

さっぽろ連携中枢都市圏ロゴ



お問合せ先

札幌市まちづくり政策局政策企画部
企画課広域連携担当

☎ 011-211-2281

✉ ki.kouiki@city.sapporo.jp

釧路市

人口 159,014人(2023.4)
主な観光ポイント
釧路湿原、和商市場

1人の雇用を生む100社の育成を目指して



k-Biz相談風景



k-Biz支援事例(販路拡大サポート
商品食べる米ぬか「ぬかっこ」)

k-Bizによる売上UP策提案と実行支援

釧路市では、2018年に公設民営の無料相談所「釧路市ビジネスサポートセンターk-Biz」をオープン。相談企業が持つ真の価値や強みを見抜き、それを生かした具体的な売上UP策の提案と伴走型の実行支援を行うことで、「1人の雇用を生む100社の育成」を目指す取組を進めています。これまでの来所相談件数は8,360件にものぼり、市内外から約980社が訪れる「行列のできる相談所」となっています。成功事例も多数生まれ、地域内外の事業者を結びつけるビジネスマッチングの実績もあります。企業版ふるさと納税等のご連絡をお待ちしております。

■プロジェクト

k-Bizを核とした中小企業及び 創業支援

経営相談を通じた売上UP策提案
と伴走型実行支援/相談者同士の
ビジネスマッチング など

事業年度・事業費

令和5年度

47,637千円



釧路市ビジネス
サポートセンター



公式 HP



公式 Facebook



お問合せ先

釧路市産業振興部商業労政課

☎ 0154-31-4611

✉ sho-shougyourousei@city.kushiro.lg.jp

北斗市

人口 44,087人(2023.4)
主な観光ポイント
きじひき高原、トラピスト修道院、
北斗桜回廊

～若者の市内回帰の促進を～



新函館北斗駅



音楽のまち・ほくと

奨学金の償還支援で回帰を促進します！

北斗市では奨学金の返還について、市内への回帰を促進することを目的として卒業後又は償還中に北斗市に居住・移住し就職した場合に、償還の一部を補助する制度を実施しています。

本市においては人口減少問題を克服すること、企業においては人材不足解消といった重要課題の解決に繋がるものと考えています。

北斗市の未来を担う若者のため、ぜひ、本市の取組に対するご支援をよろしくお願ひいたします。

■プロジェクト

北斗市奨学金償還支援事業

教育/回帰

事業年度・事業費

令和5年度



北斗市



■お問合せ先

北斗市総務部企画課

☎ 0138-73-3111

✉ kikaku@city.hokuto.hokkaido.jp

福島町

人口 3,514人(2023.4)

主な観光ポイント
岩部クルーズ、青函トンネル記念館、
横綱千代の山・千代の富士記念館

人材の育成により 次世代のリーダー等を育成



キタムラサキウニの深浅移植事業



陸上養殖アワビ

■プロジェクト

次世代を担うリーダー等育成 プロジェクト

水産業担い手支援事業／チャレンジスピリット応援事業 など

事業年度・事業費

令和5年度～

91,000千円



■お問合せ先

福島町企画課

☎ 0139-47-3007

✉ kikaku@town.fukushima.hokkaido.jp

人材育成により新たな未来を切り開く

福島町は北海道の南端、渡島半島の南西に位置しており、北海道と青森を結ぶ青函トンネル工事の北海道側の工事基地となりました。

豊かな地域資源を守り増やしながら、今ある産業をより安定したものにするため、地域力を高め、産業の軸に町内の経済を好循環させ、雇用の創出・拡大を目指します。

町づくりは、「人づくり」との視点から、次世代を担うリーダー等の育成を積極的に進めています。

知内町

人口 3,957人(2023.4)
主な観光ポイント
重内展望台、松前矢越道立自然公園

過疎が進む小さな町の高校を魅力化



知内高校



知内高校（野球部）

町立高校の魅力を最大限発揮させるために

知内町は、1次産業が基幹産業で、北海道1の産地を誇る「ニラ」などの山の幸や津軽海峡の荒波に揉まれた「力キ」などの海の幸が有名です。

このプロジェクトは過疎が進む小さな町の「町立知内高等学校」の魅力化を図り、その存続に向けて生徒の安定的な確保や学校・生活環境の向上、卒業後の新たな地域の担い手として活躍し、互いに絆を深めることで人口減少の抑制を目指します。

持続可能なまちづくりのための第一歩となる取組に、ぜひお力添えをお願いいたします！

■プロジェクト

町立知内高校魅力化プロジェクト

強豪校として登りつつある部活動の老朽化している設備や備品の更新と安心安全な教育環境の導入

事業年度・事業費

令和3年度～令和6年度
260,000千円



知内高校（体育祭の様子）



■お問合せ先

知内町政策調整課

☎ 01392-5-6161

✉ kikaku@town.shiriuchi.hokkaido.jp

奥尻町

人口 2,315人(2023.4)
主な観光ポイント
なべつる岩、球島山、うにまるモニュメント

高校3年間を自然豊かな離島で暮らす。



スクーバダイビング授業



町おこしワークショップ

■プロジェクト

北海道奥尻高等学校離島留学支援事業

生徒募集説明会の実施、帰省費等の各種助成、寄宿舎運営、スクーバダイビング授業の実施

事業年度・事業費

平成29年度～
86,859千円



制服



■お問合せ先

奥尻町地域政策課政策推進係

☎ 01397-2-3402

✉ info@town.okushiri.lg.jp

まなびじま奥尻

北海道奥尻高等学校は、平成29年度から生徒の全国募集を開始し、毎年全国各地から生徒が入学しています。奥尻島全体を学び舎とみなし、地域と連携をとりながらスクーバダイビングや地域の課題解決方法を考える町おこしワークショップ、部活動の遠征資金を調達する部活動オクシリイノベーション事業部など特色ある教育プログラム「まなびじま奥尻プロジェクト」を実践しています。また、生徒の帰省費や保護者来島の際の交通費助成、下宿費、昼食費の助成を行っています。

岩内町

人口 11,222人(2023.4)
主な観光ポイント
オートキャンプ場マリンビュー

岩内高等学校との連携事業



北海道岩内高等学校



「探究の時間」の課外活動の様子

岩内高等学校との連携・協働で地元に愛着を

岩内町では、「働く場がない」「学べる場がない」という理由で、若者の地元離れが深刻化しています。こうした若者の地元定着を促進するため、岩内高等学校と連携し、地元に愛着をもった若者の育成を目指します。

総合的な学習として実施される「探究の時間」に、地域おこし協力隊員を講師として派遣し、高校生が地域の魅力の発見や地域課題の解決を目指す機会を提供するほか、卒業後の進路について検討する場である、「地元企業研究会」へ参加し、「働く場」「学べる場」づくりを推進しています。

■プロジェクト

岩内高等学校魅力化 プロジェクト

企業と連携した進路の検討／総合学習での連携など

事業年度・事業費

令和2年度～



「地元企業研究会」の様子



■お問合せ先

岩内町経営企画部企画財政課

☎ 0135-62-1011

✉ kikaku@town.iwanai.lg.jp

音威子府村

人口 622人(2023.4)
主な観光ポイント
エコミュージアムおさしまセンター

村立おといねっぷ美術工芸高校の魅力化



村立おといねっぷ美術工芸高等学校



村立おといねっぷ美術工芸高等学校
(ロビー)

■プロジェクト

おといねっぷ美術工芸高校振興事業ほか

木材購入/生徒作品展の開催/寮運営など

事業年度・事業費

140,000千円



ものづくりに取り組む生徒たち



■お問合せ先

音威子府村総務課地域振興室

☎ 01656-5-3311

✉ tiikishinkou@vill.otoineppu.hokkaido.jp

ものづくりを通じた人づくり

北海道で一番小さな村・音威子府村で、美術工芸を学ぶために全国各地から生徒が訪れる、北海道おといねっぷ美術工芸高校。

村立工芸科高校として、寮生活のもと「ものづくり」と向き合える環境、地域との交流を通じて、創造力豊かな「人づくり」を実践しています。

更なる高校魅力化を図るために、企業版ふるさと納税を通じた応援のほか、多種多様な経験を持つ人材や、企業ならではのノウハウの提供など、多角的な協力をいただける企業を募集しています。

地域医療を支える人材育成・確保



枝幸町国民健康保険病院



枝幸町マスコットキャラクター
「えしゃー」

医療体制維持に向けた支援制度

枝幸町では、医療技術者等が慢性的に不足しており、地域医療体制の維持は、重要かつ喫緊の課題となっています。

地域医療や介護現場を支える人材の育成・確保に向けて、町内の事業所等への勤務を希望する医療従事者等に対する養成機関への修学の際の資金の貸付や、町内での就業を希望する方に対し、就業時の経済的援助を行う「医療技術者等修学資金貸付・就業時一時金貸付制度」などの支援を行っています。

■プロジェクト

医療技術者の修学・就業支援

修学資金の貸付/就業時一時金貸付

事業年度・事業費

令和2年度～
各年度 12,000千円



医療体制を維持し地域を守る



■お問合せ先

枝幸町観光課

☎ 0163-62-4242

✉ satokazuyuki@esashi.jp



地域の課題解決に向けた事業提案やタイアップ事業の実施、実証実験への参画など、行政と一緒に地域創生に取り組んでいただける企業の皆様を募集しています。ご支援をよろしくお願ひいたします。



室蘭市

室蘭から新しいビジネスがはじまる。 「サテライトオフィス室蘭」

ぜひ室蘭でのビジネス展開を！

室蘭市のサテライトオフィスは、「ビジネスチャンスを拡げたい」「優秀な学生を採用したい」という室蘭市外の企業、個人事業主の皆様に利用いただける施設です。

室蘭市でのビジネス展開をお考えの際には、「サテライトオフィス室蘭」を検索してください。



サテライトオフィス室蘭の内観

[サテライトオフィス室蘭](#)

検索



■お問合せ先
公益財団法人室蘭テクノセンター
☎ 0143-45-1188
✉ technico@murotech.or.jp

苫小牧市

苫小牧での就職を促したい！

苫小牧市では、優秀な人材を探す企業や苫小牧市内で仕事を探す方向けに、苫小牧の企業と人を「しごと」でつなぐ、求人情報サイト「とまジョブ」を運営しています。

サイトの充実を図るため、掲載していただける企業様を募集しています。

ぜひ企業様からのご連絡お待ちしております。



市が運営する求人情報サイト（とまジョブ）

■お問合せ先
苫小牧市産業経済部工業・雇用振興課
☎ 0144-32-6436
✉ kogyo@city.tomakomai.hokkaido.jp



名寄市

名寄市のスポーツ競技施設を活用した スポーツツーリズム等の開発・販売

スポーツのまちづくり

名寄市では、スポーツを活用したまちづくりを推進しています。

国内最高峰の雪質といった自然環境や、スキー場・ジャンプ台といった競技施設を活用したスポーツツーリズム・アクティビティ商品の開発・販売に関してノウハウを提供いただける企業を募集しています。



名寄市ピヤシリシャンツエ



■お問合せ先

名寄市総合政策部スポーツ合宿推進課

☎ 01654-3-2111

✉ kikuchi-takafumi@city.nayoro.lg.jp

北斗市

企業誘致に係る連携・支援

企業誘致活動のサポートをお願いします

区画整理事業により造成した新函館北斗駅前の商業地約5.3haのうち、現在約0.8haの活用が決まっていない状況です。

道南地区へ進出を検討する企業に対する立地環境や補助制度等についての情報提供をしていただける金融機関及びコンサルティング事業者を募集しています。



新函館北斗駅



■お問合せ先

北斗市経済部水産商工労働課商工労働係

☎ 0138-73-3111

✉ syoko@city.hokuto.hokkaido.jp

ニセコ町

SDGs～未来へ向けた持続可能なまちづくり～

共感パートナーシッププロジェクト

ニセコ町のまちづくりに共感していただき、以下の取組と一緒に推進いただける企業を募集しています。

- ・新たな街区「NISEKO生活・モデル地区」での持続可能な開発」
- ・CO₂の86%削減に向けた取組
- ・外国語教育、食育、スキーなどスポーツ教育の充実
- ・多様で多文化な交流イベントの開催 など



ニセコキッズパーク



■お問合せ先

ニセコ町企画環境課自治創生係

☎ 0136-44-2121

✉ jichi@town.niseko.lg.jp

岩内町

岩内町発祥の地域素材を活用した 「イワナイブランド」の確立 地元産ホップ、アスパラガス、 酒米の栽培・6次産業化

岩内町では、1871(イ・ワ・ナ・イ)年に道内で初めて発見されたビールの原料「ホップ」を始め、日本で初めて栽培に成功した「アスパラガス」など、岩内町に縁のある地元産品の栽培・活用し、新たな地域ブランドの確立を目指します。

6次産業化も視野に入れて、取組を進めてまいりますので、ご興味のある企業様は、是非ご連絡ください。



アスパラガス発祥の地石碑



野生ホップ発見の地石碑

町内で栽培されたホップ

■お問合せ先
岩内町経営企画部企画財政課地域創生係
☎ 0135-62-1011
✉ kikaku@town.iwanai.lg.jp

仁木町

企業と連携して次世代型観光拠点を整備

「フルーツパークにき」を一新

仁木町は、果物を中心とした観光のほか、近年はワイナリーも増加傾向にあり、これまで以上に魅力ある観光エリアとなる可能性があります。

今後、開通予定の国道5号、俱知安余市道路（仮称）仁木ICの降り口付近にある「フルーツパークにき」を一新し、次世代型観光拠点として整備していくため、ご協力いただける企業を募集しています。



農村公園フルーツパークにき

■お問合せ先
仁木町産業課商工観光振興係
☎ 0135-32-3951
✉ syoukou02-niki@town.niki.hokkaido.jp

長沼町

タンチョウも住めるまちづくり

田園と自然の共生拠点整備構想

長沼町では、タンチョウの生息（繁殖）箇所である舞鶴遊水地内の野鳥観察小屋（鳥の駅マオイトー）やその近隣に位置する廃校跡地を活用し、田園と自然の共生拠点整備構想を検討しています。

自然を守りながら、経済循環と多様な人の交流を生み出す拠点の活用方法にノウハウやアドバイスをいただける企業を募集しています。



舞鶴遊水地周辺に飛来するタンチョウ

■お問合せ先
長沼町政策推進課
☎ 0123-76-8016
✉ seisakusuishinka@ad.maoi-net.jp



東川町

東川オフィシャルパートナー制度

新たな社会的価値を創造していく取組

東川町とつながりのある企業とパートナーシップ関係を構築し地方や日本そして世界の未来を育む社会価値の共創を目指すものです。

東川町のもつ「写真・家具」などの文化価値の創造事業や「介護福祉（外国人材）・オリンピック選手」などの人材育成事業など、共に取り組んでいただけるパートナーを募集しています。



東川町オフィシャルパートナー事業



■お問合せ先
東川町東川スタイル課
☎ 0166-82-2111
✉ brand@town.higashikawa.lg.jp

音威子府村

村立おといねっぷ美術工芸高校の魅力化

全国各地から生徒が集まる村立高校

美術工芸を学ぶために全国各地から生徒が訪れる村立おといねっぷ美術工芸高校は、村の重要な魅力の一つです。

生徒募集をはじめ、村立高校の魅力化のため、多種多様な経験を持つ人材や、企業ならではのノウハウの提供など、多角的な協力をいただける企業を募集しています。



村立おといねっぷ美術工芸高等学校（ロビー）



■お問合せ先
音威子府村総務課地域振興室
☎ 01656-5-3311
✉ tiikishinkou@vill.otoineppu.hokkaido.jp

小平町

おびら和牛の振興に向けて

スマート農業の実現にご協力ください

おびら和牛の振興のため、畜舎を新築・改築し、AIやICTを活用した自動給餌機、哺乳口ボット等の導入に加え、クラウド牛群管理システム等の導入を検討しています。

スマート農業の実現化に向けて、ノウハウを提供いただける企業を募集しています。



おびら和牛振興に向けて



■お問合せ先
小平町企画振興課
☎ 0164-56-2111
✉ ogata.masaki@town.obira.lg.jp

枝幸町

労働力・人材不足の解消

機械化・技術革新へのご協力を

枝幸町では、過疎化、少子高齢化による漁業・酪農などの一次産業、水産加工や介護・福祉分野での労働力と人材不足が顕著となっています。

機械化や技術革新での課題解消に向けて協力いただける企業を募集しています。



ほたて漁船乗組員の水揚げ作業

■お問合せ先

枝幸町観光課

☎ 0163-62-4242

✉ satokazuyuki@esashi.jp



利尻富士町

新産業開拓プロジェクト

高齢者も移住者も一緒になって働く場の創設

新たな産業を開拓し、退職後の方や高齢者が従事することで、生きがいの創出、稼げる化により地域の活性化を図るとともに、移住者も取り込みます。

日本名水百選の豊かな水と雄大な自然など、地域資源を活用した新たな産業の可能性について、調査・協力いただける企業を募集しています。



利尻富士町の漁業の様子

■お問合せ先

利尻富士町企画政策課

☎ 0163-82-2850

✉ kikaku@town.rishirifuchi.hokkaido.jp



えりも町

えりも岬を甦らせた漁師たちの実話を基にした映画製作の実現

先人が残した日本人のあるべき姿を未来へ

浦河町、様似町、えりも町、及び広尾町の四町では、浦河町出身の田中光敏監督によるえりも岬の緑化事業を題材とした映画の実現に向けて取り組みを行っています。これは、明治から昭和の初めに森林伐採で砂漠化した荒れ地に、地元の漁師らが木を植え続け、半世紀をかけて豊かな森と海を甦らせた史実です。

日本人の先人が残した自分たちの魂、日本のあるべき姿を未来へ伝え残すため、現地でのオールロケでの映画製作の実現に向けて皆様のご協力をお願いします。



1950年代の砂漠化したえりも岬

■お問合せ先

えりも町企画課内映画製作準備室

☎ 01466-2-4612

✉ erimo-kikaku@town.erimo.lg.jp



過疎地における地域内交通手段の確保

地域交通の確保に向けて

豊頃町では、高齢化の進展に伴い市街地と集落を結ぶ地域内交通手段の確保が課題となっています。

市街地とJR駅を結ぶバスや町立医院を利用する方のためのバスを運行していますが、集落から市街地を結ぶ路線は整備されておらず、また広範囲に及ぶため行政だけでの対応が難しい状況にあります。

これらの課題の解決に協働して取り組んでいただけ
る企業を募集しています。



豊頃町コミュニティバス

■お問合せ先



豊頃町企画課町づくり推進係
☎ 015-574-2216
✉ kikaku@toyokoro.jp

鶴居村/黒松内村/美瑛町/赤井川村/標津町/江差町/清里町/京極町/中札内村

日本で最も美しい村ビューティフルデー

清掃活動に御協力を！

美しい景観を損ない、海洋汚染等で問題視されているプラスチックごみ等の流出を防ぐため、10月4日を「ビューティフルデー」として、各地域で一斉ゴミ拾いを実施しています。

この取組を継続していくため、清掃ボランティアの方々へのお礼の品や清掃用具の提供、地域の清掃への参加などに協力いただける企業を募集しています。



ビューティフルデーの様子

■お問合せ先



中札内村総務課企画財政グループ
☎ 0155-67-2491
✉ s-kikaku@vill.nakasatsunai.hokkaido.jp

道内市町村で利活用が可能な遊休施設

企業等の皆様が利活用可能な遊休公共施設を紹介しています。

サテライトオフィス設置、工場開設等、今後の道内での事業展開の際に、是非ご検討ください。企業の皆様からのご連絡をお待ちしております。

■ 市町村所有施設

空知 滝川市(1)

後志 蘭越町(1) 積丹町(2) 古平町(1)

日高 新冠町(1) 様似町(1) 新ひだか町(2)

上川 旭川市(3) 比布町(1) 上富良野町(2) 中富良野町(1)

留萌 初山別村(1)

宗谷 稚内市(10)

十勝 士幌町(1) 上士幌町(1)

釧路 厚岸町(2) 標茶町(2)

■ 道所有施設

空知 南幌町(1)

後志 小樽市(1)

渡島 函館市(1)

留萌 留萌市(1)

十勝 浦幌町(1)

滝川市 えべおつ 前江部乙中学校



前江部乙中学校は、市内中学校との統合に伴い令和4年3月31日用途廃止。

校舎棟は昭和61年築のため新耐震基準格技場は昭和53年築ですが、耐震診断結果で改修不要の判断となっております。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

売却

■概要

| | |
|-------|--|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造 校舎棟以外：鉄骨造 |
| 敷地面積 | 40,966m ² (建物敷地) 2,067m ² (建物敷地外) |
| 延床面積 | 3,904m ² (校舎棟) |
| 建築年 | 校舎：1987年 体育館棟：1979年 |
| 廃止年 | 2022年 |
| 利用条件等 | 部分的な活用も可能 |

所 在地 滝川市江部乙町1118-1

自動車の場合

旭川空港から約1時間20分 (約70km)

旭川市（中心部）から1時間 (約60km)

※高速道路利用

公共交通機関の場合(JR蘭越駅まで)

JR札幌駅から約3時間20分

■ お問い合わせ先

滝川市財政課契約管財係

☎ 0125-28-8008

✉ zaisei@city.takikawa.lg.jp

蘭越町

おおゆねま

大湯沼自然展示館



大湯沼自然展示館は、自然体験型施設として平成7年（1995年）から平成25年（2013年）まで使用されました。本施設は湯本温泉郷の雪秩父温泉の傍に所在しており、同所からの眺望も良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|----------------------|
| 構造 | 鉄筋コンクリート造1階建 |
| 敷地面積 | — |
| 延床面積 | 406.80m ² |
| 建築年 | 1995年 |
| 廃止年 | 2013年 |
| 利用条件等 | 要相談 |

所 蘭越町湯の里680番地15

自動車の場合
札幌市（中心部）から約2時間30分（約110km）

公共交通機関の場合（JR蘭越駅まで）
JR札幌駅から約3時間20分

■お問合せ先

蘭越町商工労働観光課

☎ 0136-55-6736

✉ kankou@town.rankoshi.lg.jp

積丹町

しゃこたん

積丹岬キャンプ場



積丹岬キャンプ場は、昭和63年（1988年）に完成し、平成18年（2006年）10月まで使用されていました。

本施設は、当町を代表する景勝地の1つ「島武意海岸」のすぐそばにあり、海岸までのアクセスも良好です。地域の活性化、発展に貢献できる事業等での活用を募集しております。

土地

賃貸借

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 便所2棟、炊事場4基 |
| 敷地面積 | 緑地広場：5,600.00m ² 駐車場：2,601.00m ² |
| 延床面積 | — |
| 建築年 | 1988年 |
| 廃止年 | 2007年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化、発展に貢献できる事業等であること。 |

所 積丹町大字入舸町

自動車の場合
新千歳空港から約2時間30分（約140km）
札幌市（中心部）から約1時間35分（約95km）
※共に高速道路利用

■お問合せ先

積丹町企画課

☎ 0135-44-2114

✉ kikaku@town.shakotan.lg.jp

積丹町

いりか

旧入舸小学校



旧入舸小学校は、昭和59年（1984年）に完成し、平成22年（2010年）3月まで使用されました。

本施設は、当町を代表する景勝地の1つ「島武意海岸」を有する入舸町にあり、施設の立地も道道沿いに位置しており、交通のアクセスも良好です。地域の活性化、発展に貢献できる事業等での活用を募集しております。

土地

賃貸借

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造 体育館：鉄骨鉄筋コンクリート造 |
| 敷地面積 | 11,076.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：630.17m ² 体育館：509.00m ² |
| 建築年 | 1984年 |
| 廃止年 | 2010年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化、発展に貢献できる事業等であること。 |

所 積丹町大字入舸町158-2

自動車の場合

新千歳空港から約2時間20分（約140km）

札幌市（中心部）から約1時間35分（約95km）

※共に高速道路利用

■お問合せ先

積丹町企画課

☎ 0135-44-2114

✉ kikaku@town.shakotan.lg.jp

土地

要相談

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|--|
| 構造 | 管理棟：コンクリート造、木造 センターハウス：鉄筋コンクリート造 |
| 敷地面積 | 255,108.35m ² |
| 延床面積 | 管理棟：210.30m ² センターハウス：303.57m ² |
| 建築年 | 1984年 |
| 廃止年 | 2020年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化、発展に貢献できる事業等であること。 |

所 古平町大字歌棄町44番地1

自動車の場合

千歳空港から約2時間00分（約112km）

札幌市から約1時間30分（約72km）

※共に高速道路利用

■お問合せ先

古平町産業課商工観光係

☎ 0135-48-9840

✉ shoukankou@town.furubira.lg.jp

古平町

ふるびらかぞくりょこうむら

古平家族旅行村



古平家族旅行村は、昭和59年（1984年）に完成し、夏はキャンプ場、冬はスキー場としてアウェーレジャーが楽しめる施設として営業しておりました。施設の老朽化等により、平成19年度にスキー場としての営業を休止し、令和2年度にはキャンプ場としての営業も休止しております。

本施設は、札幌方面から古平町市街地への入口にあたる歌棄町にあり、海や山に近いことから雄大な自然を感じられる施設となっております。

利活用については、地域の活性化、発展に貢献できる事業等での活用を募集しております。

古平町

ふるびらちょうえいばくじょう

古平町営牧場



古平町営牧場は、平成5年（1993年）に完成し、令和元年（2019年）まで利用されました。

本施設は、古平町を一望できる歌棄町にあり、後志自動車道及び札樽自動車道を利用して札幌中心部まで約2時間、新千歳空港まで約1時間30分となっています。

利活用については、業種は指定せず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|-------------------------------|
| 構造 | 管理用機械格納舎：軽量鉄骨造 衛生舎：鉄鋼造 |
| 敷地面積 | 113ha（山林）、156ha（原野） |
| 延床面積 | 60m ² （管理用機械格納舎）ほか |
| 建築年 | 1987年 |
| 廃止年 | 2019年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化、発展に貢献できる事業等であること。 |

所 古平町大字歌棄町290番地ほか

■ 新千歳空港から約2時間（約112km）
札幌市（中心部）から約1時間30分（約72km）
※共に高速道路利用

■お問合せ先

古平町産業課農林係

☎ 0135-48-9840

✉ nourin.sct@town.furubira.lg.jp

新冠町

せっぷ

旧節婦小学校



旧節婦小学校は昭和53年（1978年）に完成し、平成20年（2008年）まで使用されました。本施設は、漁業を中心とした節婦地区にあり、高規格幹線道路日高自動車を利用して新千歳空港まで約1時間10分、札幌市までは約1時間50分となっています。

利活用については、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

売却

■概要

| | |
|-------|--------------------------------|
| 構造 | 鉄筋コンクリート造2階建（一部木造） |
| 敷地面積 | 1,606.09m ² |
| 延床面積 | 1,524.00m ² |
| 建築年 | 1978年 |
| 廃止年 | 2008年 |
| 利用条件等 | 地域住民の理解を得ることのできる事業実施及び経営を行うこと。 |

所 新冠町字節婦町24-2

■ 自動車の場合
新千歳空港から約1時間10分（約80km）
札幌市（中心部）から約1時間50分（約120km）
※共に高速道路利用

■ 公共交通機関の場合
(高速バス・JR東節婦駅まで)
JR札幌駅から約1時間50分

■お問合せ先

新冠町企画課まちづくりグループ企画係

☎ 0146-47-2498

✉ teijyu@niikappu.jp

様似町

旧ソビラ荘 (特別養護老人ホーム)



特別養護老人ホーム「旧ソビラ荘」は平成2年（1990年）に完成し、平成29年（2017年）3月の施設移転に伴い、遊休化されました。本施設はJR北海道バス「様似築港前」停留所より徒歩4分（350m）の水産加工場等の多い港町地区にあります。

利活用については、業種は指定せず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

無償貸与

建物

無償貸与

■概要

| | |
|-------|-----------------------------|
| 構造 | 鉄筋コンクリート造平屋建 (車庫：鉄骨造平屋建) |
| 敷地面積 | 13,017.01m ² |
| 延床面積 | 2,227.75m ² |
| 建築年 | 1990年(1999年増築) |
| 廃止年 | 2017年 |
| 利用条件等 | 人口減少対策に繋がる、地方創生に資する事業であること。 |

所 様似町港町

自動車の場合

新千歳空港から約2時間30分（約150km）

札幌市(中心部)から約3時間（約190km）

※共に高速道路利用

帯広市・帯広空港から約2時間30分（約150km）

■お問合せ先

様似町企画調整課企画係

☎ 0146-36-2122

✉ kikakutyouseika@samani.jp

土地

売却

建物

無償譲渡

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄筋コンクリート造平屋建 |
| 敷地面積 | 21,446.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：1,748.00m ² 体育館：585.00m ² |
| 建築年 | 校舎：1975年 体育館：1976年 |
| 廃止年 | 2012年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。 |

所 新ひだか町静内春立349番1

自動車の場合

新千歳空港から約1時間40分（約100km）

札幌市(中心部)から約2時間20分（約150km）

※共に高速道路利用

■お問合せ先

新ひだか町総務部契約管財課管財係

☎ 0146-49-0276

✉ kanzai@town.shinhidaka.lg.jp

新ひだか町

はるたち

旧春立小学校



旧春立小学校は、昭和50年（1975年）に完成し、平成24年（2012年）3月まで使用されました。

利活用については、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

新ひだか町

けりまい

旧鳴舞小学校



旧鳴舞小学校は、平成4年（1992年）に完成し、平成23年3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

無償譲渡

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造平屋建 |
| 敷地面積 | 14,783.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：972.00m ² 体育館：576.00m ² |
| 建築年 | 校舎：1992年 体育館：1993年 |
| 廃止年 | 2011年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。 |

所 新ひだか町三石鳴舞120番

自動車の場合

新千歳空港から約2時間 (約120km)
札幌市(中心部)から約2時間40分 (約160km)
※共に高速道路利用

■お問合せ先

新ひだか町総務部契約管財課管財係

☎ 0146-49-0276

✉ kanzai@town.shinhidaka.lg.jp

土地

売却

建物

売却

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造 |
| 敷地面積 | 21,972.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：1,215.00m ² 体育館：922.00m ² |
| 建築年 | 1997年 |
| 廃止年 | 2019年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化と振興発展に貢献できる事業であり、地域の要望を考慮した活用であること。 |

所 旭川市西神楽3線25号

自動車の場合

旭川空港から約30分 (約20km)
札幌市(中心部)から約2時間 (約140km)

※高速道路利用

公共交通機関の場合

(JR旭川駅まで)
旭川空港から約35分(バス)
JR札幌駅から約1時間30分(特急利用)

■お問合せ先

旭川市教育委員会学校教育部教育政策課

☎ 0166-25-7534

✉ tekiseihaichi@city.asahikawa.lg.jp

旭川市

ちよがおか

旧千代ヶ岡小学校



旧千代ヶ岡小学校は、平成9年（1997年）に建築され、平成31年（2019年）まで使用されました。グラウンドを挟んで向かいに、旧千代ヶ岡中学校があります。

利活用に関しては、一括売却を原則として、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

無償譲渡

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造 |
| 敷地面積 | 21,972.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：1,215.00m ² 体育館：922.00m ² |
| 建築年 | 1997年 |
| 廃止年 | 2019年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化と振興発展に貢献できる事業であり、地域の要望を考慮した活用であること。 |

所 旭川市西神楽3線25号

自動車の場合

旭川空港から約30分 (約20km)
札幌市(中心部)から約2時間 (約140km)

※高速道路利用

公共交通機関の場合

(JR旭川駅まで)
旭川空港から約35分(バス)
JR札幌駅から約1時間30分(特急利用)

■お問合せ先

旭川市教育委員会学校教育部教育政策課

☎ 0166-25-7534

✉ tekiseihaichi@city.asahikawa.lg.jp

かむいこたん
旧神居古潭小中学校



旧神居古潭小中学校は、昭和51年（1976年）に建築され、平成19年（2007年）まで使用されました。

利活用に関しては、一括売却を原則として、地域の活性化等に貢献できる事業を募集しています（市街化調整区域のため事業内容により都市計画法等の規制を受けることがありますので、関係法令を御確認ください）。

旭川市

あさひかわだいに
旧旭川第2小学校



旧旭川第2小学校は、平成4年（1992年）に建築され、令和2年（2020年）まで使用されました。

利活用に関しては、一括売却を原則として、地域の活性化等に貢献できる事業を募集しています（市街化調整区域のため事業内容により都市計画法等の規制を受けることがありますので、関係法令を御確認ください）。

土地

売却

建物

売却

■概要

| | |
|-------|--|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造 |
| 敷地面積 | 10,840.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：1,240.00m ² 体育館： 724.00m ² |
| 建築年 | 1976年 |
| 廃止年 | 2007年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化と振興発展に貢献できる事業であり、地域の要望を考慮した活用であること。 |

所 旭川市神居町神居古潭

自動車の場合

旭川空港から約30分 (約 20km)
札幌市(中心部)から約2時間 (約140km)

※高速道路利用

公共交通機関の場合

(JR旭川駅まで)
旭川空港から約35分(バス)
JR札幌駅から約1時間30分(特急利用)

■ お問合せ先

旭川市教育委員会学校教育部教育政策課

☎ 0166-25-7534

✉ tekiseihaichi@city.asahikawa.lg.jp

土地

売却

建物

売却

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造平屋建 |
| 敷地面積 | 14398.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：1800.00m ² 体育館： 698.00m ² |
| 建築年 | 1992年 |
| 廃止年 | 2020年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化と振興発展に貢献できる事業であり、地域の要望を考慮した活用であること。 |

所 旭川市東旭川町旭正

自動車の場合

旭川空港から約30分 (約 20km)
札幌市(中心部)から約2時間 (約140km)

※高速道路利用

公共交通機関の場合 (JR旭川駅まで)

JR札幌駅から約1時間30分(特急利用)
旭川空港から約35分(バス)
札幌駅前から約2時間30分

■ お問合せ先

旭川市教育委員会学校教育部教育政策課

☎ 0166-25-7534

✉ tekiseihaichi@city.asahikawa.lg.jp

比布町

らんる

旧蘭留小学校



旧蘭留小学校は、昭和58年（1983年）に完成し、平成22年（2010年）3月まで使用されました。本施設は、町内の蘭留地区にあり、道央道比布北ICからも近く、旭川市中心部まで車で40分程度と都市にも近く自然豊かな場所に立地しています。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

売却

建物

売却

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造平屋建 |
| 敷地面積 | 13,160.00m ² |
| 延床面積 | 校舎及び給食施設：760.10m ² 体育館：420.00m ² |
| 建築年 | 1983年 |
| 廃止年 | 2010年 |
| 利用条件等 | 有償での賃貸借も可能ほか |

所 比布町北9線14号

自動車の場合

旭川空港から約45分（約30km）
旭川中心部から約30分（約16km）

公共交通機関の場合（JR比布駅まで）

旭川空港から約1時間10分
※旭川空港～旭川駅間はバスのみ
JR旭川駅から約30分

■お問合せ先

比布町総務企画課財務係

☎ 0166-85-2111

✉ ichigo@town.pippu.hokkaido.jp

上富良野町

えほろ

旧江幌小学校



旧江幌小学校は、平成2年（1990年）に完成し、平成27年（2015年）3月末まで使用されました。

町の産業振興や雇用機会の拡大につながるよう、地域の活性化を前提とした事業の提案及び事業者を幅広く募集しています。

土地

売却

建物

売却

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 鉄筋コンクリート造平屋建 |
| 敷地面積 | 22,400.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：563.54m ² 体育館：476.75m ² |
| 建築年 | 1990年 |
| 廃止年 | 2015年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。 |

所 上富良野町西9線北29号

自動車の場合

旭川空港から約30分（約23km）
旭川市中心部から約1時間（約40km）

公共交通機関の場合（JR上富良野駅まで）

JR旭川駅から約50分

■お問合せ先

上富良野町総務課財政管理班

☎ 0167-45-6980

✉ zaisei@town.kamifurano.lg.jp

上富良野町

ひがしなか

旧東中中学校



旧東中中学校は、昭和52年（1977年）に完成し、平成26年（2014年）まで使用されました。

地域の活性化や、発展に貢献できる事業の提案及び、事業者を幅広く募集しています。

土地

売却

建物

売却

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄筋コンクリート造平屋建 |
| 敷地面積 | 19,861.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：1,402.28m ² 体育館：763.85m ² |
| 建築年 | 校舎：1977年 体育館：1986年 |
| 廃止年 | 2014年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。 |

所 上富良野町東8線北18号

自動車の場合

旭川空港から約50分 (約35km)
旭川市中心部から約1時間 (約40km)

公共交通機関の場合 (JR上富良野駅まで)
JR旭川駅から約50分

■お問合せ先

上富良野町総務課財政管理班

☎ 0167-45-6980

✉ zaisei@town.kamifurano.lg.jp

中富良野町

みなみなか

旧南中小学校



旧南中小学校は、昭和61年（1986年）に完成し、平成29年（2017年）まで使用されました。体育館は地域の公民館として活用されています。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|-------------------------|
| 構造 | 鉄筋コンクリート造2階建 |
| 敷地面積 | 10,972.00m ² |
| 延床面積 | 875.00m ² |
| 建築年 | 1986年 |
| 廃止年 | 2017年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。 |

所 中富良野町鹿討農場

自動車の場合

旭川空港から約45分 (約40km)
旭川市中心部から約1時間10分 (約49km)

公共交通機関の場合 (JR中富良野駅まで)
JR旭川駅から約1時間10分

■お問合せ先

中富良野町役場企画課未来戦略係

☎ 0167-44-2133

✉ kikaku@nakafurano.jp

初山別村

とよさき

旧豊岬小学校



旧豊岬小学校は、明治34年(1901年)に開校、平成22年(2010年)に閉校し、109年の歴史に幕を下ろしました。本施設は、村の観光拠点であるみさき台公園と同じ地区に位置することから、アクティビティーや公共交通手段の観点からも良い立地条件です。学校のグラウンドからは、日本海を臨むことができます。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

稚内市

さらきとまない

旧更喜苦内小学校



旧更喜苦内小学校は、昭和55年（1980年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業や畑作農業を中心とした勇知地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 木造・鉄筋コンクリート |
| 敷地面積 | 6,311.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：1,342.75m ² 体育館：605.00m ² |
| 建築年 | 1997年 |
| 廃止年 | 2010年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。 |

所 苫前郡初山別村字豊岬182-1

自動車の場合

旭川空港から約3時間10分 (約160km)
旭川市中心部から約2時間50分 (約145km)

■お問合せ先

初山別村企画振興室企画振興係

☎ 0164-67-2211

✉ soumu.kikaku@vill.shosanbetsu.lg.jp

土地

要相談

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄骨その他造1階建 体育館：鉄骨その他造2階建 |
| 敷地面積 | 7,266.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：463.00m ² 体育館：384.00m ² |
| 建築年 | 校舎：1974年 体育館：1987年 |
| 廃止年 | 2002年 |
| 利用条件等 | 地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。 |

所 稚内市大字声問村字更喜苦内

自動車の場合

旭川市(中心部)から約4時間 (約250km)
※高速道路利用

公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)

稚内空港から約30分(連絡バス)
JR旭川駅から約4時間(特急利用)

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

☎ 0162-23-6528

✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

まかりふち

旧曲渕小中学校



旧曲渕小中学校は、昭和53年（1978年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした沼川地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

**土地
要相談**

**建物
要相談**

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造3階建 体育館：鉄骨その他造2階建 |
| 敷地面積 | 11,272.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：1,719.00m ² 体育館：459.00m ² |
| 建築年 | 1978年 |
| 廃止年 | 2002年 |
| 利用条件等 | 地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。 |

所 稚内市大字声問村字曲渕

自動車の場合

旭川市(中心部)から約4時間(約250km)
※高速道路利用

公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)

稚内空港から約30分(連絡バス)
JR旭川駅から約4時間(特急利用)

■ お問い合わせ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

☎ 0162-23-6528

✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

かばおか

旧樺岡小中学校



旧樺岡小中学校は、昭和58年（1983年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした樺岡地区にあり、大規模草地やJR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

**土地
要相談**

**建物
要相談**

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建 |
| 敷地面積 | 8,980.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：659.00m ² 体育館：384.00m ² |
| 建築年 | 校舎：1983年 体育館：1987年 |
| 廃止年 | 2002年 |
| 利用条件等 | 地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。 |

所 稚内市大字声問村字樺岡

自動車の場合

旭川市(中心部)から約4時間(約250km)
※高速道路利用

公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)

稚内空港から約30分(連絡バス) JR旭川駅から約4時間(特急利用)

■ お問い合わせ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

☎ 0162-23-6528

✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

とよべつ

旧豊別小中学校



旧豊別小中学校は、昭和55年（1980年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした豊別地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建 |
| 敷地面積 | 7,625.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：663.00m ² 体育館：360.00m ² |
| 建築年 | 1980年 |
| 廃止年 | 2002年 |
| 利用条件等 | 地域（旧校区）の理解を得られる利用方法であることなど。 |

所 稚内市大字声問村字下豊別

自動車の場合 旭川市（中心部）から約4時間（約250km）
※高速道路利用

公共交通機関の場合（JR稚内駅まで） 稚内空港から約30分（連絡バス）JR旭川駅から約4時間（特急利用）

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

☎ 0162-23-6528

✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

かみしうとく

旧上修徳小中学校



旧上修徳小中学校は、昭和51年（1976年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした天興地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 鉄骨その他造2階建 |
| 敷地面積 | 22,374.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：767.00m ² 体育館：384.00m ² |
| 建築年 | 校舎：1976年 体育館：1988年 |
| 廃止年 | 2002年 |
| 利用条件等 | 地域（旧校区）の理解を得られる利用方法であることなど。 |

所 稚内市大字声問村字天興

自動車の場合 旭川市（中心部）から約4時間（約250km）
※高速道路利用

公共交通機関の場合（JR稚内駅まで） 稚内空港から約30分（連絡バス）JR旭川駅から約4時間（特急利用）

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

☎ 0162-23-6528

✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

ひがしうら

旧東浦小中学校



旧東浦小中学校は、昭和55年（1980年）に完成し、平成22年（2010年）3月まで使用されました。本施設は、水産業（主にホタテ業）を中心とした東浦地区にあり、日本最北端の地や宗谷丘陵も近く、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建 |
| 敷地面積 | 6,443.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：655.00m ² 体育館：384.00m ² |
| 建築年 | 校舎：1980年 体育館：1986年 |
| 廃止年 | 2010年 |
| 利用条件等 | 地域（旧校区）の理解を得られる利用方法であることなど。 |

所 稚内市大字宗谷村字東浦89

自動車の場合

旭川市（中心部）から約4時間（約250km）
※高速道路利用

公共交通機関の場合（JR稚内駅まで）

稚内空港から約30分（連絡バス）
JR旭川駅から約4時間（特急利用）

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

0162-23-6528

gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

あけぼの

旧曙小学校



旧曙小学校は、昭和57年（1982年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。

本施設は、酪農業を中心とした曙地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造1階建 体育館：鉄骨その他造2階建 |
| 敷地面積 | 7,173.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：329.00m ² 体育館：280.00m ² |
| 建築年 | 1982年 |
| 廃止年 | 2002年 |
| 利用条件等 | 地域（旧校区）の理解を得られる利用方法であることなど。 |

所 稚内市大字声問村字曙

自動車の場合

旭川市（中心部）から約4時間（約250km）
※高速道路利用

公共交通機関の場合（JR稚内駅まで）

稚内空港から約30分（連絡バス） JR旭川駅から約4時間（特急利用）

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

0162-23-6528

gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

しもゆうち

旧下勇知小中学校



旧下勇知小中学校は、昭和58年（1983年）に完成し、平成25年（2013年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業や畑作農業を中心とした勇知地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建 |
| 敷地面積 | 2,135.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：842.00m ² 体育館：538.00m ² |
| 建築年 | 1983年 |
| 廃止年 | 2013年 |
| 利用条件等 | 地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。 |

所 在地 稚内市大字抜海村字下勇知

自動車の場合

旭川市(中心部)から約4時間 (約250km)
※高速道路利用

公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)

稚内空港から約30分(連絡バス)
JR旭川駅から約4時間(特急利用)

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

☎ 0162-23-6528

✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

わっかないにし

旧稚内西小中学校



旧稚内西小中学校は、平成5年（1993年）に完成し、平成27年（2015年）3月まで使用されました。本施設は、水産業を中心とした西地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建 |
| 敷地面積 | 18,429.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：2,567.00m ² 体育館：817.00m ² |
| 建築年 | 校舎：1993年 体育館：1979年 |
| 廃止年 | 2015年 |
| 利用条件等 | 地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。 |

所 在地 稚内市西浜2丁目

自動車の場合

旭川市(中心部)から約4時間
※高速道路利用 (約250km)

公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)

稚内空港から約30分(連絡バス) JR旭川駅から約4時間(特急利用)

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

☎ 0162-23-6528

✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

かみゆうち

旧上勇知小中学校



旧上勇知小中学校は、昭和54年（1979年）に完成し、平成28年（2016年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業や畠作農業を中心とした勇知地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造3階建 体育館：鉄骨その他造2階建 |
| 敷地面積 | 12,197.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：1,653.00m ² 体育館：458.00m ² |
| 建築年 | 1979年 |
| 廃止年 | 2016年 |
| 利用条件等 | 地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど。 |

所 稚内市大字抜海村字上勇知

自動車の場合

旭川市(中心部)から約4時間 (約250km)
※高速道路利用

公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)

稚内空港から約30分(連絡バス)
JR胆振駅から約時間(特急利用)

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課

☎ 0162-23-6528

✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

士幌町

にしかみおとふけ

旧西上音更小学校



旧西上音更小学校は平屋建てで、平成7年（1995年）に完成し、令和元年（2019年）3月まで使用された施設です。校舎は農村地区にあり帯広市から車で約1時間、帯広空港まで約1時間30分とアクセス良好です。

新たな雇用や改修に使える「最大500万円」補助制度があり、企業や個人のビジネス利活用者を募集しています。

土地

賃貸借

建物

賃貸借

■概要

| | |
|-------|--|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造平屋建 体育館：鉄骨その他造平屋建 |
| 敷地面積 | 19,600.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：1,150.00m ² 体育館： 585.00m ² |
| 建築年 | 1995年 |
| 廃止年 | 2019年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化、発展に貢献できる事業であること。 |

所 士幌町字上音更西3線229番地

自動車の場合

とかち帯広空港から約1時間20分 (60km)
札幌市から約3時間30分 (210km)
※高速道路利用

公共交通機関の場合(JR帯広駅まで)

JR札幌駅から約2時間20分(特急利用)
JR帯広駅からバスで約60分

■お問合せ先

士幌町産業振興課商工労働観光課

☎ 01564-5-5213

✉ sansingroup1@shihoro.jp

上士幌町

ほくもん

旧北門小学校



旧北門小学校周辺は平坦な畠地に囲まれております。広大な十勝の景観を一望することができます。

また、国道241号に隣接しているため、場所も分かりやすく交通の利便性も高い立地条件となっています。住民の皆様との交流や連携を大切にし、地域と共生いただける事業者を募集しております。

厚岸町

かみおぼろ

旧上尾幌小中学校



旧上尾幌小中学校は、平成10年（1998年）に完成し、平成21年（2009年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした上尾幌地区にあり、釧路市までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

賃貸借

建物

賃貸借

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造平屋建 体育館：鉄骨その他平屋建 住宅：木造平屋建 |
| 敷地面積 | 10,000.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：826.00m ² 体育館：627.00m ² 教職員住宅：50m ² ～81m ² (1戸あたり) |
| 建築年 | 校舎：1986年 体育館：1992年 教職員住宅：1980～1994年 |
| 廃止年 | 2016年 |
| 利用条件等 | 要相談 |

所 上士幌町字居辺東15線291番地

自動車の場合
帯広空港から約1時間30分（約75km）
札幌市(中心部)から約4時間（約220km）
※共に高速道路利用

■お問合せ先

上士幌町企画財政課

☎ 01564-2-4290

✉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp

土地

要相談

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他2階建 |
| 敷地面積 | 25,893.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：2,076.00m ² 体育館：772.00m ² |
| 建築年 | 小学校校舎：1998年 中学校校舎：1978年 体育館：1979年 |
| 廃止年 | 2009年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化や福祉の向上、雇用の創出、産業の振興等につながる事業であること。 |

所 厚岸町上尾幌6番地

自動車を利用した場合
釧路空港から約1時間20分（約70km）
釧路市(中心部)から約1時間10分（約50km）

公共交通機関の場合(JR厚岸駅まで)
釧路空港から約2時間30分(バス) JR釧路駅から約1時間

■お問合せ先

厚岸町総合政策課政策調整係

☎ 0153-52-3131

✉ seisaku@akkeshi-town.jp

厚岸町

とこたん

旧床潭小学校



旧床潭小学校は、平成11年（1999年）に完成し、平成29年（2017年）3月まで使用されました。本施設は、沿岸漁業を中心とした床潭地区にあり、釧路市までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

要相談

建物

要相談

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 鉄筋コンクリート造2階建 |
| 敷地面積 | 18,070.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：1,732.00m ² 体育館：664.00m ² |
| 建築年 | 1999年 |
| 廃止年 | 2017年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化や福祉の向上、雇用の創出、産業の振興等につながる事業であること。 |

所 厚岸町床潭128番地

自動車の場合
釧路空港から約1時間20分 (約70km)
釧路市(中心部)から約1時間10分 (約50km)

公共交通機関の場合(JR厚岸駅まで)
釧路空港から約2時間30分(バス)
JR釧路駅から約1時間

■お問合せ先

厚岸町総合政策課政策調整係

☎ 0153-52-3131

✉ seisaku@akkeshi-town.jp

標茶町

くちょう

旧久著呂中央小中学校



旧久著呂中央小中学校は、平成8年（1996年）に完成し、平成27年（2015年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした久著呂地区にあり、国道274号線が隣接し、たんちょう釧路空港へのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却・賃貸借

建物

売却・賃貸借

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 木造 |
| 敷地面積 | 24,000.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：1,752.00m ² 体育館：684.00m ² |
| 建築年 | 1996年 |
| 廃止年 | 2015年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化、発展に貢献できる事業であることなど。 |

所 標茶町字クチヨ口原野256番地

自動車の場合
釧路空港から約1時間30分 (約70km)
釧路市(中心部)から約50分 (約50km)
標茶市街地から約25分

公共交通機関の場合(JR標茶駅まで)
JR釧路駅から約50分

■お問合せ先

標茶町企画財政課企画調整係

☎ 015-48-5-2111

✉ k_kikaku@town.shibecha.lg.jp

旧弥栄小学校



旧弥栄小学校は、昭和57年（1982年）に完成し、平成19年（2007年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした弥栄地区にあり、道道中標津標茶線沿いで、中標津空港までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

**土地
売却・賃貸借**

**建物
売却・賃貸借**

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 敷地面積 | 25,348.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：730.00m ² 体育館：409.00m ² |
| 建築年 | 1982年 |
| 廃止年 | 2007年 |
| 利用条件等 | 地域の活性化、発展に貢献できる事業であることなど。 |

所 標茶町字上多和原野基線50-3、50-6番地

車 自動車の場合

釧路空港から約1時間30分(約70km)

釧路市(中心部)から約50分(約50km)

標茶市街地から約11分

電 公共交通機関の場合(JR標茶駅まで)

JR釧路駅から約50分

■お問合せ先

標茶町企画財政課企画調整係

☎ 015-485-2111

✉ k_kikaku@town.shibecha.lg.jp

土地

売却

建物

売却

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造 |
| 敷地面積 | 58,065.78m ² |
| 延床面積 | 校舎：2,931.71m ² 体育館：966.48m ² |
| 建築年 | 1991年 |
| 廃止年 | 2023年 |
| 利用条件等 | 有償での賃貸借も可能 |

所 空知郡南幌町元町3丁目889番3
(住居表示：空知郡南幌町元町3丁目2番1号)

車 自動車の場合

札幌市(中心部)から40分(約30km)

電 公共交通機関の場合

<バス>

札幌駅前ターミナル→町立病院前(約40分) 施設まで約200m

江別駅前→南幌中学校前(約25分) 施設まで約100m

北広島駅前→南幌町立病院前(約20分) 施設まで約200m

■お問合せ先

北海道教育庁総務政策局施設課

☎ 011-204-5709

✉ kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp

北海道（南幌町）

なんぽろ

旧北海道南幌高等学校



旧北海道南幌高等学校は、平成3年（1991年）3月に建築され、令和5年（2023年）3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

売却

建物

売却

北海道（小樽市）

おたるろう

旧北海道小樽聾学校



旧北海道小樽聾学校は、平成元年（1989年）に建築され、平成26年（2014年）3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

売却

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造 |
| 敷地面積 | 16,169.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：2,198.00m ² 体育館：505.00m ² |
| 建築年 | 1989年 |
| 廃止年 | 2014年 |
| 利用条件等 | 有償での賃貸借も可能 |

所 小樽市入船町4丁目31-1
(住居表示:小樽市入船4丁目28番38号)

自動車の場合
札幌市(中心部)から約40分(約40km)

※高速道路利用
公共交通機関の場合
<JR>
札幌駅→小樽駅(46分) 施設まで約2.6km
小樽駅→南小樽駅(3分) 施設まで約1.7km

■お問い合わせ先

北海道教育厅総務政策局施設課

☎ 011-204-5709

✉ kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp

北海道（函館市）

とい

旧北海道戸井高等学校



旧北海道戸井高等学校は、平成7年（1995年）3月に建築され、平成27年（2015年）3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

売却

建物

売却

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造3階建 体育館：鉄骨造 |
| 敷地面積 | 32,524.84m ² |
| 延床面積 | 校舎：3,810.00m ² 体育館：963.00m ² |
| 建築年 | 1995年 |
| 廃止年 | 2015年 |
| 利用条件等 | 有償での賃貸借も可能 |

所 函館市浜町717-1(校舎)、861-2(ゲート)

自動車の場合
函館空港から約30分(約23km)
函館駅から約40分(約28km)

公共交通機関の場合
<函館バス>
函館駅前→浜町(約1時間10分) 施設まで約0.8km

■お問い合わせ先

北海道教育厅総務政策局施設課

☎ 011-204-5709

✉ kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp

北海道（留萌市）

るもい

旧北海道留萌高等学校



旧北海道留萌高等学校は、平成12年（2000年）3月に建築され、平成30年（2018年）3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

売却

建物

売却

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造4階建 体育館：鉄骨造 |
| 敷地面積 | 52,661.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：6,324.00m ² 体育館：966.00m ² |
| 建築年 | 2000年 |
| 廃止年 | 2018年 |
| 利用条件等 | 有償での賃貸借も可能 |

所

留萌市東雲町1丁目84

車

自動車の場合

札幌市(中心部)から約2時間(約150km)

※高速道路利用

公共交通機関の場合

<高速バス>

札幌駅前ターミナル→元川町(約2時間15分) 施設まで約1km

<JR>

札幌駅→留萌駅(約2時間30分) 施設まで約2.4km

■お問合せ先

北海道教育庁総務政策局施設課

☎ 011-204-5709

✉ kyoiku_gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp

北海道（浦幌町）

うらほろ

旧北海道浦幌高等学校



旧北海道浦幌高等学校は、昭和59年（1984年）に建築され、平成22年（2010年）3月まで使用されました。

隣接しているグラウンド（約30,000m²）は、民間企業がメガソーラー用地として活用中です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

売却

■概要

| | |
|-------|---|
| 構造 | 校舎：鉄筋コンクリート造3階建 体育館：鉄骨造 |
| 敷地面積 | 13,834.00m ² |
| 延床面積 | 校舎：3,912.00m ² 体育館：1,059.00m ² |
| 建築年 | 1984年 |
| 廃止年 | 2010年 |
| 利用条件等 | 有償での賃貸借も可能 |

所

浦幌町字帯富150-2

車

帯広空港から約1時間(約50km)

帯広市(中心部)から約1時間(約50km)

公共交通機関の場合

<JR>

帯広駅→浦幌駅(50分 特急利用) 施設まで約2.1km

■お問合せ先

北海道教育庁総務政策局施設課

☎ 011-204-5709

✉ kyoiku_gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp



エールを北のチカラに。

ほっかいどう
応援団会議

企業の皆様と共に取り組むプロジェクト（令和5（2023）年7月）

発行 北海道
編集 北海道総合政策部官民連携推進局
住所 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
電話 011-204-5158